

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 慶應義塾  
理事長 清家

慶應義塾大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	244 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	681人	44人	697.7人	看護補助者	102人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	18人	3人	18.9人	理学療法士	13人	臨床検査技師	133人
薬剤師	96人	0人	96.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	14人	その他	0人
助産師	36人	0人	36.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	996人	12人	1001.0人	臨床工学技士	24人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	16人	その他の技術員	67人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	3人	事務職員	223人
管理栄養士	18人	0人	18.0人	診療放射線技師	78人	その他の職員	15人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	858.7 人	7.9人	866.6 人
1日当たり平均外来患者数	2,719 人	173人	2,892人
1日当たり平均調剤数			5,441剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	13人
抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	13人
末梢血幹細胞による血管再生治療	1人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	62人
大腸腫瘍に対する内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	51人
前眼部三次元画像解析	26人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	85人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	81人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	143人	・原発性胆汁性肝硬変	62人
・全身性エリテマトーデス	405人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	42人
・再生不良性貧血	48人	・混合性結合組織病	57人
・サルコイドーシス	54人	・原発性免疫不全症候群	11人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・特発性間質性肺炎	15人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	266人	・網膜色素変性症	77人
・特発性血小板減少性紫斑病	141人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	29人	・肺動脈性肺高血圧症	64人
・潰瘍性大腸炎	627人	・神経線維腫症	31人
・大動脈炎症候群	54人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	22人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	123人	・慢性血栓性肺高血圧症	43人
・脊髄小脳変性症	44人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	493人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	156人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	14人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	20人
・後縦靭帯骨化症	69人	・肥大型心筋症	9人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	45人	・ミトコンドリア病	8人
・ウェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	72人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	47人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	9人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	55人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)	・
・大腸腫瘍に対する内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	中央臨床検査部 週5~6回、病理診断部 年間約100回
部 検 の 状 況	部検症例数 65 例 / 部検率 13.20%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
別紙参照				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計 844

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙参照			

計 510

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発および評価の実績

### 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
糖尿病予防のための戦略研究	伊藤裕	医学部臨床教室	2,560,000 円	補 委 ○ (J-DOIT)財団法人 国際 協力医学研究振興財団
単一細胞における水・イオン動態の同時観測を可能とする技術 開発	安井正人	医学部基礎教室	7,700,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
生殖細胞の特性に基づく新しいリプログラミング手法の開発	永松剛	医学部坂口光洋記念講 座	13,000,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
RNAサイレンシングが司る遺伝子情報制御	塩見美喜子	医学部基礎教室	56,550,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
直接リプログラミングによる心筋細胞誘導の確立と臨床への応 用	家田真樹	医学部寄附講座	47,450,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
T細胞分化および樹状細胞分化のリプログラミング	吉村昭彦	医学部基礎教室	120,055,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
エピジェネティック治療を目指した心不全の病態解明	金田るり	医学部臨床教室	8,385,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
特発性肺線維症治療薬の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学 研究所	679,900 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
トリプルネガティブ乳癌治療用抗体医薬の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学 研究所	9,001,200 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
人工幹細胞の作製とそれを標的とした創薬研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学 研究所	91,000,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
Cancer RNAomeから明らかとなった癌関連スモールRNAsのバ イオマーカーとしての検証	座間猛	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
脳組織障害後の慢性炎症における免疫制御機構の解明	七田兼	医学部基礎教室	5,200,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
光による細胞内輸送とシナプス可塑性の制御	松田信爾	医学部基礎教室	14,950,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
周波数選択性・時間分解能を考慮した次世代型補聴器の開発	神崎晶	医学部臨床教室	1,136,200 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
質量分析イメージングによる炎症メディエーター分子の局在産 生の可視化	杉浦悠毅	医学部基礎教室	29,250,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
HNF1β 標的ヒト型モノクローナル抗体による分子標的治療薬 の創薬	赤羽智子	医学部臨床教室	1,700,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
細胞内機能ドメインが大脳皮質形成に果たす役割の解明	川内健史	医学部基礎教室	10,270,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
外傷性脊髄障害における機能的ワイヤによる神経機能回復の 評価	中村雅也	医学部臨床教室	5,200,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
微小環境がヒトiPS細胞及び胎児由来神経幹細胞の分化・腫 瘍化に及ぼす影響	中村雅也	医学部臨床教室	39,000,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
自然免疫反応におけるシェディングの役割と制御機構	白壁恭子	医学部総合医科学研究 センター	9,100,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
神経幹細胞の自己複製促進剤の開発	並木淳	医学部臨床教室	1,700,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
細胞除去/全肝マトリックスを基盤とし、ヒトES細胞由来 肝細胞を用いた補助肝臓グラフトの開発とその移植	北川雄光	医学部臨床教室	3,080,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
生体内ガス分子の生体制御機構の解明と医学応用	末松誠	医学部基礎教室	74,473,500 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
IL-33産生を伴う慢性疾患と加齢や肥満により増加したナチュラルヘルパー細胞がTh1/Th2バランスの破綻を惹起するメカニズムの解明	茂呂和世	医学部基礎教室	68,900,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
シグナル伝達機構の解明と操作による個体行動や回路レベルの制御	柚崎通介	医学部基礎教室	56,712,500 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
質量顕微鏡法における空間特異的情報検出ソフトウェアの開発	涌井昌俊	医学部臨床教室	7,267,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
H.pylori の鉄取り込みトランスポーターFecA1を標的とした、病原性細菌を特異的に制御するリード化合物の探索	鈴木秀和	医学部臨床教室	1,700,000 円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
遺伝子変異体メダカの作製とその効率化	谷口善仁	医学部基礎教室	6,617,000 円	補 委 ○ (独)農業・食品産業技術総合研究機構「NARO」
ヒト幹細胞産業応用促進基盤技術開発	福田恵一	医学部臨床教室	40,005,000 円	補 委 ○ NEDO 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
創薬加速に向けたタンパク質構造解析基盤技術開発	安井正人	医学部基礎教室	9,449,000 円	補 委 ○ NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
癌特異的抗原受容体改変T細胞の輸注とがんワクチンによる複合的がん免疫療法の研究開発	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	43,592,850 円	補 委 ○ NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
血中メチル化DNAの新規検出方法を利用した、喉頭癌・子宮体癌の迅速診断システムの開発	座間猛	医学部臨床教室	17,550,000 円	補 委 ○ NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
がん超早期診断・治療機器の総合開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	53,301,000 円	補 委 ○ NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
「高機能性蛍光磁性ビーズによる高速・高感度診断システムの開発」	北川雄光	医学部臨床教室	5,999,000 円	補 委 ○ NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	久保敦司	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 医療法人 弘池会 委
医学教育EEP研究充実のため	医学部	医学部	1,000,000 円	補 ○ 医療法人社団 慶成会 委
指定寄附	三村將	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 医療法人社団 慶成会 委
指定寄附	三村將	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 医療法人社団 更生会 草津 病院 委
指定寄附	鈴木則宏	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 医療法人社団 仁明会 委
指定寄附	高橋孝雄	医学部臨床教室	250,000 円	補 ○ 医療法人社団 恵育会 竹田周 香 委
指定寄附	三村將	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 医療法人社団 慶竹会 委
IMA(国際医学研究)活動費	医学部	医学部	10,000 円	補 ○ 医療法人社団 敬松会 石田医 院 石田恵一 委
慢性突発性血小板減少性紫斑病(ITP)に対するリツキシマブの有効性と安全性の検討を目的とした第Ⅲ相オープンラベル試験	岡本真一郎	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 奄美群島振興開発基金 委
特発性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブの開発	宮川義隆	医学部臨床教室	73,160,000 円	補 ○ 奄美群島振興開発基金 委
医師主導治験	青木大輔	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 奄美群島振興開発基金 委
治験の実施に関する研究[タクロリムス水和物]	平形道人	医学部医学教育統轄センター	800,000 円	補 ○ 奄美群島振興開発基金 委
妊娠時の温水洗浄便座の使用と膈内細菌叢の変化に関する研究	大前和幸	医学部基礎教室	5,050,000 円	補 ○ 温水洗浄便座協議会 委
単心室血行動態をもつ患者に対するシルデナフィルの効果に関する調査	山岸敬幸	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 学校法人東京女子医科大学 委
顕微質量分析装置の実用化開発	涌井昌俊	医学部臨床教室	16,144,700 円	補 ○ 株式会社島津製作所 委
指定寄附	鈴木秀和	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 三越厚生事業 団 委
指定寄附	関谷高史	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興 財団 委
指定寄附	吉田理	医学部クラスター部門	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興 財団 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
指定寄附	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	佐野元昭	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	松崎有未	医学部総合医科学研究センター	2,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	新井康通	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	神田武志	医学部	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	石津綾子	医学部坂口光洋記念講座	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	中田慎一郎	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	内田裕之	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	南嶋洋司	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科学振興財団 委
指定寄附	家田真樹	医学部	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 万有生命科学振興国際交流財団 委
指定寄附	神田武志	医学部	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 万有生命科学振興国際交流財団 委
指定寄附	篠村裕之	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 公益財団法人ソルトサイエンス研究財団 委
指定寄附	関倫久	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人国際科学技術財団 委
症候性頭蓋内動脈狭窄性病変に対する抗血小板薬の進展抑制効果に関する研究	星野晴彦	医学部寄附講座	15,750 円	補 ○ 公益財団法人先端医療振興財団 委
指定寄附	八木拓也	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 公益財団法人倉田記念日立科学技術財団 委
指定寄附	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	2,000,000 円	補 ○ 公益財団法人難病医学研究財団 委
指定寄附	稲葉隆明	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 公益信託 永尾武難病研究基金 委
漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病BPSD軽減効果の検証-プラセボ対象無作為化臨床第2相比較試験-	伊東大介	医学部臨床教室	600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
腎性インスリン抵抗性症候群に基づく慢性腎臓病新規治療戦略の確立	伊藤裕	医学部臨床教室	71,612,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	永尾圭介	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
炎症の分子ネットワークにおける遺伝子機能解析	塩見春彦	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特定健診保健指導における地域診断と保健指導実施効果の包括的な評価および今後の適切な制度運営に向けた課題克服に関する研究	岡村智教	医学部基礎教室	350,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	岡村智教	医学部基礎教室	450,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究	岡村智教	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
各種禁煙対策の経済影響に関する研究-医療費分析と費用効果分析-	岡村智教	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
大規模コホート共同研究の発展による危険因子管理の優先順位の把握と個人リスク評価に関するエビデンスの構築	岡村智教	医学部基礎教室	27,169,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性血管炎に関する調査研究	岡田保典	医学部基礎教室	1,800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
浸潤・転移等、がんの重要な臨床的特性の病理・病態学的分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法の開発に資する研究	岡田保典	医学部基礎教室	4,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
低侵襲・ヒト幹細胞デリバリーシステムによる重症心不全治療実用化基盤技術の開発	岡本一真	医学部臨床教室	6,175,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
非血縁者間種末梢血幹細胞移植開始におけるドナーおよびレシピエントの安全性と成績向上に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特発性造血障害に関する調査研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための基盤構築に関する研究	岡野栄之	医学部基礎教室	60,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
幹細胞増殖因子による筋萎縮性筋硬化症に対する新規治療法の開発	岡野栄之	医学部基礎教室	44,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
慢性C型肝炎のインターフェロン療法における幹細胞機能の変化とうつ病発症に関する基礎・臨床連携研究	岡野栄之	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
精神疾患の病態診断と治療評価のためのイメージングバイオマーカーの開発と臨床応用	加藤元一郎	医学部臨床教室	2,070,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
安全な生殖補助医療を行うための精液よりのHIVウイルス分離法の確立	加藤真吾	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
HIV検査相談体制の充実と活用に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	32,020,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治療方法の確立に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
漢方薬による免疫がん微小環境の改善と作用機序の解明	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	18,122,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	関口進一郎	医学部臨床教室	255,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベイランスの構築と病因解析、その診断治療に関する研究	岩田敏	医学部クラスター部門	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
更年期障害に対する加味逍遙散のプラセボ対照二重盲検群間比較試験	吉村泰典	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	吉村泰典	医学部臨床教室	42,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
安全な生殖補助医療を行うための精液よりのHIVウイルス分離法の確立	久慈直昭	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究	金子祐子	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
関節リウマチにおける骨髄・骨格形成細胞間ネットワークの解明と根治療法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ペーチェット病に関する調査研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
腰痛の診断、治療法に関する研究: 痛み・しびれの可視化技術の確立並びにMRIを用いた脊髄投射路及び末梢神経イメージング法の確立	戸山芳昭	医学部	26,817,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
筋骨格系慢性疼痛の疫学および病態に関する包括的研究(指定型)	戸山芳昭	医学部	26,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	戸山芳昭	医学部	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	戸山芳昭	医学部	98,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
肥厚性皮膚骨膜炎における遺伝子診断と生化学的検査を踏まえた新しい病型分類の提言と既存治療法の再評価に関する研究	工藤純	医学部共同利用研究室	4,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者において積極的脂質低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	香坂俊	医学部寄附講座	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
新生児および乳児肝血管腫に対する治療の実態把握ならびに治療ガイドライン作成の研究	黒田達夫	医学部臨床教室	13,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究	黒田達夫	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
固形がん幹細胞を標的とした革新的治療法の開発に関する研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	10,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線化評価法の開発と臨床的有用性の確立	坂元亨宇	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主因子等について、網羅的な遺伝子解析を用い、新規診断法及び治療法の開発を行う研究	坂元亨宇	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
浸潤・転移等、がんの重要な臨床的特性の病理・病態学的分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法の開発に資する研究	坂元亨宇	医学部基礎教室	4,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
血液製剤の安全性確保と安定供給のための新興・再興感染症の研究	三浦左千夫	医学部基礎教室	1,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
心不全に対する再生医療と人工心臓の複合戦略- CD29highCD34low c-kit+ CD140a+ 骨髄細胞による臨床研究と基盤研究	三好俊一郎	医学部臨床教室	3,700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
うつ病の認知行動療法研修事業	三村将	医学部	97,104,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
内臓錯位症候群の疫学と治療実態に関する研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性腸管吸収機能障害Microscopic colitisに関する調査研究	緒方晴彦	医学部クラスター部門	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究	小崎健次郎	医学部クラスター部門	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
Alagille症候群など遺伝性胆汁うっ滞性疾患の診断ガイドライン作成、実態調査並びに生体資料のバンク化	小崎健次郎	医学部クラスター部門	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
EEC症候群における有病率調査と実態調査研究	小崎健次郎	医学部クラスター部門	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
Rubinstein-Taybi症候群の臨床診断基準の策定と新基準にもとづく有病率の調査研究	小崎健次郎	医学部クラスター部門	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	小崎健次郎	医学部クラスター部門	13,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成	小崎健次郎	医学部クラスター部門	150,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の解明と遺伝子診断ネットワークの形成	小崎健次郎	医学部クラスター部門	100,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
CHARGE症候群の成人期の病像の解明と遺伝子診断の臨床応用・iPS細胞の確立	小崎健次郎	医学部クラスター部門	13,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	小松浩子	看護医療学部	2,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	小川郁	医学部臨床教室	600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子異常解析に基づく新診断基準作成	小川郁	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
急性高度難聴に関する調査研究	小川郁	医学部臨床教室	13,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
関節リウマチにおける骨髄・骨格形成細胞間ネットワークの解明と根治療法の開発	松尾光一	医学部共同利用研究室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究	松本守雄	医学部臨床教室	600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	森岡秀夫	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	森毅彦	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
日本におけるリンパ管腫患者(特に重症患者の長期経過)の実態調査および治療方針の作成	森川康英	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難聴者自立支援のための埋め込み型骨導補聴器の開発	神崎晶	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
肝炎ウイルスによる肝疾患発症の宿主要因と発症予防に関する研究	杉山和夫	医学部寄附講座	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
標準的検査法と精度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究	青木大輔	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
わが国の子宮頸がん検診における新たな検診手法の有効性についての研究	青木大輔	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
本邦における非古典型21水酸化酵素欠損症の実態把握と診断・治療指針の作成	石井智弘	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発	千葉一裕	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	千葉一裕	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
血液凝固異常症に関する調査研究	村田満	医学部臨床教室	65,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ヘパリン起因性血小板減少症の診断基準確立のための研究	村田満	医学部臨床教室	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	大家基嗣	医学部臨床教室	150,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
精神療法の有効性の確立と普及に関する研究	大野裕	保健管理センター	64,375 円	補 ○ 厚生労働省 委
終末期医療のあり方に関する調査手法の開発に関する研究	池上直己	医学部基礎教室	9,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特発性大腿骨壊死症の診断・治療・予防法を開発を目的とした全国学際的研究	竹内勤	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
間接リウマチの間接破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び、根治・修復療法の開発に関する研究	竹内勤	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
間接リウマチに対する生物学的製剤の作用機序、投与方法、治療効果等に関する研究	竹内勤	医学部臨床教室	40,950,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	竹内勤	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性血管炎に関する調査研究	竹内勤	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	中村雅也	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
幹細胞増殖因子による筋萎縮性索硬化症に対する新規治療法の開発	中村雅也	医学部臨床教室	12,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法確立に関する研究	長谷川博俊	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
軟骨無形成症の病態解明と治療法の開発	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
レリーワイル症候群の診断法確立と治療指針作成	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
全ゲノムエクソン配列解析法による先天性内分泌疾患の分子基盤の解明	長谷川奉延	医学部臨床教室	100,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
非致死性骨形成不全症の診断及び治療方法の更なる推進に関する研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	10,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
がんのリハビリテーション ガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	15,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
自己免疫疾患に関する調査研究	坪田一男	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
特異性周辺部角膜潰瘍の実態調査および治療に関する研究	坪田一男	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
新規疾患、IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS)の確立のための研究	坪田一男	医学部臨床教室	400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
ヒト幹細胞を用いた臨床研究のエビデンス創出から高度医療制度による実用化を目指した研究	坪田一男	医学部臨床教室	23,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
Fuchs角膜内皮変性症および関連疾患に関する調査研究	坪田一男	医学部臨床教室	13,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	天谷雅行	医学部臨床教室	4,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究	天谷雅行	医学部臨床教室	40,950,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
母子コホート研究による成育疾患等の病態解明に関する研究	田中守	医学部臨床教室	800,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
漢方の特性を利用したエビデンス創出と適正使用支援システムの構築	渡辺賢治	医学部クラスター部門	54,600,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
WHO伝統医療分類からの日本版漢方分類の作成	渡辺賢治	医学部クラスター部門	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
ヒトIPS細胞を用いた致死的循環器疾患の病態解明と治療方法の開発	湯浅慎介	医学部総合医科学研究センター	13,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベイランスの構築と病因解析、その診断治療に関する研究	藤島清太郎	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性炎症性腸疾患のゲノムおよびエピゲノム解析による病因・病態・治療抵抗性機序の解明	日比紀文	医学部臨床教室	5,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	日比紀文	医学部臨床教室	4,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
IgG4関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究	日比紀文	医学部臨床教室	700,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫難病に対する先駆的治療薬開発—生物製剤を中心とした早期臨床試験拠点の医・薬集学的整備によるFIMの実施とPOCの確立	日比紀文	医学部臨床教室	25,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
原因不明小腸潰瘍症の実態把握、疾患概念、疫学、治療体系の確立に関する研究	日比紀文	医学部臨床教室	13,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
レチノイド関連化合物の消化管免疫疾患への治療応用	日比紀文	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
H12(ADP)リボソームの人工血小板としての前臨床評価(効力と安全性)	半田誠	医学部クラスター部門	37,700,000 円	厚生労働省 補 ○ 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
脳表へモシテリン沈着症の診断基準の構築と調査に関する研究班	百島祐貴	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
超高度電気化学イメージング技術を応用したヒト生殖細胞クオリティー診断装置の開発	浜谷敏生	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
多能性幹細胞の新規的培養空間創出による幹細胞医薬研究の底上げ	浜谷敏生	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	武林亨	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
緩和ケアプログラムによる地域介入研究	武林亨	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
突発性心筋症に関する調査研究	福田恵一	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
呼吸不全に関する調査研究	別役智子	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	北川雄光	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	北川雄光	医学部臨床教室	900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
人工赤血球の臨床応用を目指した至適投与法の策定とGMP製造技術の確立	堀之内宏久	医学部臨床教室	33,435,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ミトコンドリア病の診断と治療に関する研究	末岡浩	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫難病に対する先駆的治療薬開発—生物製剤を中心とした早期臨床試験拠点の医・薬集学的整備によるFIHの実施とPOCの確立	末松誠	医学部基礎教室	439,351,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
国際水準の臨床研究・治験を推進する先進的運営・教育・支援体制の確立	末松誠	医学部基礎教室	101,270,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
既設の臨床研究実施基盤をもとに、海外諸機関と連携して日本の臨床研究の水準を高め、国際水準の臨床研究機関を確立する。	末松誠	医学部基礎教室	170,470,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
Rubinstein-Taybi症候群の臨床診断基準の策定と新基準にもとづく有病率の調査研究	柳橋達彦	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
スモンに関する調査研究	里宇明元	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
Calciophylaxisの診断・治療に関わる調査・研究	林松彦	医学部クラスター部門	13,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
機能性ディスぺプシアに対する六君子湯の有効性・安全性の科学的エビデンスを創出するための多施設共同二重盲検無作為化プラセボ対照比較試験	鈴木秀和	医学部臨床教室	48,941,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫性神経疾患に関する調査研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
自然免疫細胞リモデリングによるウイルス性肝炎の新規治療法の開発	淵本康史	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
定圧高速自動送気内視鏡の実現に向けたオーバーチューブ・システムの開発・改良	矢作直久	医学部クラスター部門	3,088,050 円	補 ○ 国立大学法人大阪大学 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
顕微質量分析装置の活用・普及促進	久保亜紀子	医学部基礎教室	520,000 円	補 委 ○ 国立大学法人浜松医科大学
指定寄附	塩見春彦	医学部基礎教室	10,000,000 円	補 委 ○ 財) 武田科学振興財団
指定寄附	家田真樹	医学部寄附講座	10,000,000 円	補 委 ○ 財) 武田科学振興財団
指定寄附	久保田義顕	医学部総合医科学研究センター	10,000,000 円	補 委 ○ 財) 武田科学振興財団
指定寄附	三浦恭子	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 委 ○ 財) 持田記念医学薬学振興財団
指定寄附	谷口善仁	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 委 ○ 財) 鉄鋼環境基金
指定寄附	陳瑞強	医学部	300,000 円	補 委 ○ 財) 日中医学協会
真社会性げっ歯類ハダカデバネズミをモデルとした哺乳類の「性差」獲得機構の解明	三浦恭子	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団
天疱瘡における病原性決定領域を標的とした治療戦略の開発	山上淳	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団
統合失調症における寛解状態を維持する機序の解明: な応内ドバミン受容体の遮断の質および遺伝的見地から	内田裕之	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団
チロシンキナーゼ阻害剤による分子遺伝学的寛解達成後のチロシンキナーゼ阻害剤投与中止に関する検討	松木絵里	医学部総合医科学研究センター	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 がん集学的治療研究財団
ヒトiPS細胞を用いたin vitro毛包誘導モデルの開発	大山学	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 コスメトロジー研究振興財団
植え込み型人工腎臓の開発—動物実験による実用性の検討	菅野義彦	医学部クラスター部門	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 テルモ科学技術振興財団
指定寄附	福田憲一	医学部臨床教室	100,000 円	補 委 ○ 財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
指定寄附	藤井多久磨	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 喫煙科学研究財団
指定寄附	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 喫煙科学研究財団
ヒト間葉系幹細胞を用いた新しい抗HMGB1デリバリーシステムによる大腸癌治療法の開発	八木洋	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 佐川がん研究助成振興財団
助成金(研究)	舟久保恵美	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 委 ○ 財団法人 守谷育英会
糖鎖修飾による自然免疫システムの多様な制御機構の解明	後藤聡	医学部総合医科学研究センター	3,600,000 円	補 委 ○ 財団法人 住友財団
バイオモニタリングによる水環境中有害物質の毒性評価に関する技術的な検討	谷口善仁	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 委 ○ 財団法人 住友財団
アストロサイト細胞内コンパートメントの解明	塗谷陸生	医学部基礎教室	1,800,000 円	補 委 ○ 財団法人 住友財団
生活習慣病による網膜・脈絡膜疾患進行のメカニズム	永井紀博	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 委 ○ 財団法人 上原記念生命科学財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
生殖ゲノム品質管理因子Piwiの機能制御	塩見美喜子	医学部基礎教室	5,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
Nr4a2によるT細胞分化制御機構の解明	関谷高史	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
左心室心筋分化の右心不全再生治療への応用	古道一樹	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
急性腎障害の病態解明と腎臓再生因子の探索	森貴隆司	医学部総合医科学研究 センター	4,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
遺伝子機能改変メダカによる化学物質毒性評価系の確立	谷口善仁	医学部基礎教室	5,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
数理モデルを用いた幹細胞運命決定機構の解析	谷内江綾子	医学部基礎教室	4,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
常染色体劣性遺伝性小頭症の発症機序の解明	田中大介	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
眼表面バリア破綻と炎症性サイトカインの関連性	内野裕一	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学 財団 委
神経変性疾患由来iPS細胞を用いた病態メカニズムの解析と創薬研究への展開	八木拓也	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 財団法人 倉田記念日立科学 技術財団 委
Notchシグナリングが関与する骨代謝調節機能の解明	依田昌樹	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 中富健康科学振興 財団 委
Fcy receptor IIIを介した生物学的製剤投与時反応のメカニズム解明と予測因子同定	金子祐子	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 中富健康科学振興 財団 委
骨格筋再生療法の開発	湯浅慎介	医学部総合医科学研究 センター	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 中富健康科学振興 財団 委
テロメア・テロメラーゼ関連因子による骨髄不全疾患の発症機構	仁田英里子	医学部総合医科学研究 センター	2,000,000 円	補 ○ 財団法人 難病医学研究財団 委
指定寄附	湯浅慎介	医学部総合医科学研究 センター	1,150,000 円	補 ○ 財団法人 日本応用酵素協会 委
成人幹細胞のエリスロポエチン産生能力再活性化と、その腎性貧血治療への応用	南嶋洋司	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 日本腎臓財団 委
マウスES細胞の自己新生及び分化におけるmicroRNAの機能	塩見春彦	医学部基礎教室	10,000,000 円	補 ○ 財団法人 武田科学振興財団 委
エピジェネティクスによる心筋直接リプログラミング制御機構の解明	家田真樹	医学部寄附講座	10,000,000 円	補 ○ 財団法人 武田科学振興財団 委
Nr4a2 によるT細胞分化制御を担う分子メカニズムの解明	関谷高史	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 財団法人 武田科学振興財団 委
慢性腎臓病に伴う動脈硬化病変形成におけるエピジェネティック制御機構の解明	吉田理	医学部クラスター部門	3,000,000 円	補 ○ 財団法人 武田科学振興財団 委
腫瘍選択的血管新生阻害療法の開発	久保田義顕	医学部総合医科学研究 センター	10,000,000 円	補 ○ 財団法人 武田科学振興財団 委
転写抑制性分子による破骨細胞分化と骨の恒常性制御	宮本健史	医学部総合医科学研究 センター	3,000,000 円	補 ○ 財団法人 武田科学振興財団 委
心臓におけるグルココルチコイド・ミネラルコルチコイド受容体の病態生理学的役割	佐野元昭	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 財団法人 武田科学振興財団 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
間葉系幹細胞が慢性GVHDを発症・増悪する新規メカニズムの解明と予防法の開発	松崎有未	医学部総合医科学研究センター	2,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
超百寿者由来iPS細胞を用いた抗動脈硬化メカニズムの解明	新井康通	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
脂質代謝異常症における血管内皮インスリン抵抗性の役割	神田武志	保健管理センター	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
細胞外マトリックスによる骨髄造血幹細胞制御機構の解析	石津綾子	医学部坂口光洋記念講座	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
イムノグロブリンクラススイッチにおけるPI3Kによる制御機構の解明	藤猪英樹	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
統合失調症の寛解状態を維持する機序の解明:脳内ドパミン受容体の遮断の質および遺伝的見地から	内田裕之	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
メタボローム解析を駆使した、低酸素応答によるインスリン感受性の制御機構の解明	南嶋洋司	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
直接リプログラミングによる心筋再生と新しい心筋梗塞治療法の開発	冢田真樹	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 〇 財団法人 万有生命科学振興 国際交流財団 委
メタボリックシンドロームにおける血管内皮レプテン抵抗性の意義	神田武志	保健管理センター	1,000,000 円	補 〇 財団法人 万有生命科学振興 国際交流財団 委
VRCZの代謝阻害に及ぼすCYP2C19多型の影響	松木絵里	医学部総合医科学研究センター	2,000,000 円	補 〇 財団法人 臨床薬理研究振興 財団 委
指定寄附	高橋常浩	医学部クラスター部門	280,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研 究財団 委
Stage II /Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討 (JFMC41-1001-C2)	長谷川博俊	医学部臨床教室	672,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研 究財団 委
指定寄附	長谷川博俊	医学部臨床教室	40,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研 究財団 委
指定寄附	長谷川博俊	医学部臨床教室	490,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研 究財団 委
指定寄附	長谷川博俊	医学部臨床教室	140,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研 究財団 委
指定寄附	福田恵一	医学部	20,000 円	補 〇 財団法人パブリックリサーチセ ンター 委
加齢黄斑変性予防のための非侵襲的眼底黄斑色素測定の基盤技術の開発	坪田一男	医学部臨床教室	11,315,850 円	補 〇 財団法人埼玉中小企業振興 公社 委
指定寄附	税所芳史	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 〇 財団法人地域医学研究基金 委
小児心電・心音図の基準値設定に関する研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	557,550 円	補 〇 財団法人東京都予防医学協 会 委
指定寄附	佐藤俊朗	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 〇 財団法人日本応用酵素協会 委
原爆被爆者における免疫老化とその他の放射線被ばく後影響の調査	小安重夫	医学部基礎教室	427,915 円	補 〇 財団法人放射線影響研究所 委
揮発性短鎖脂肪酸およびモノカルボン酸受容体の系統的探索と医学応用	末松誠	医学部基礎教室	2,235,294 円	補 〇 財団法人糧食研究会 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
抑制性神経細胞に着目した大脳皮質構築機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	6,700,000 円	補 ○ 私学事業団 委
助成金(研究)	吉野紀美香	医学部基礎教室	125,520 円	補 ○ 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 委
難治性前立腺癌の進展プロセスに着目した、高齢者に優しいを念頭に置いた、包括的な新規治療戦略の確立	宮嶋哲	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 大和証券ヘルス財団 委
高齢者の認知機能低下を予測するバイオマーカーの確立 — 一般地域住民におけるコホート研究—	原田成	大学院医学研究科	1,000,000 円	補 ○ 大和証券ヘルス財団 委
日本人肥満者におけるβ細胞障害とその機序の解明	税所芳史	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 大和証券ヘルス財団 委
尿細管を場とする慢性腎臓病進行の分子機構の解明	門川俊明	医学部医学教育統轄センター	1,000,000 円	補 ○ 大和証券ヘルス財団 委
慶大眼科銀行 拡充のため	大学病院	医学部	38,500 円	補 ○ 東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 委
慶應義塾大学地域小児医療調査研究寄附講座	高橋孝雄	医学部	40,000,000 円	補 ○ 東京都 委
掃島後健康診断(呼吸器系)データ解析業務委託	大前和幸	医学部基礎教室	3,283,483 円	補 ○ 東京都三宅島三宅村長 委
非小細胞肺癌患者の体重およびQOL等に関する臨床研究	副島研造	医学部臨床教室	241,500 円	補 ○ 特定非営利活動法人 胸部腫瘍臨床研究機構 委
指定寄附	石田晋	医学部寄附講座	3,750,000 円	補 ○ 特定非営利活動法人 健康環境教育の会 委
関節リウマチの寛解導入療法向上、休薬に関する検討—関節リウマチにおけるTocilizumab単独投与或いはMTX併用投与による有効性の比較検討及び、Tocilizumab投与からの離脱の検討—(SURPRISE study)	竹内勲	医学部臨床教室	960,000 円	補 ○ 特定非営利活動法人 先端医療研究支援機構 委
指定寄附	新村健	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 特定非営利活動法人 日本抗加齢協会 委
指定寄附	島田朗	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 特定非営利活動法人 日本抗加齢協会 委
ヒト遺伝学的検査(先天異常分野)	小崎健次郎	医学部クラスター部門	200,000 円	補 ○ 特定非営利活動法人オーファンネット・ジャパン 委
SOCS-mimeticsの開発とJAK阻害剤のアレルギー性疾患治療への応用	吉村昭彦	医学部基礎教室	31,000,000 円	補 ○ 独立行政法人医薬基盤研究所 委
新たなヒト悪性中皮腫浸潤増殖モデルの開発およびヒト化CD26抗体による悪性中皮腫の新規治療法の開発	山田健人	医学部基礎教室	17,000,000 円	補 ○ 独立行政法人医薬基盤研究所 委
内在性オリゴデンドロサイト前駆細胞の分化誘導を基盤とする中枢神経系髄鞘再生医薬の開発	中原仁	医学部総合医科学研究センター	16,000,000 円	補 ○ 独立行政法人医薬基盤研究所 委
L4およびその誘導体の投与実験	別役智子	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 独立行政法人医薬基盤研究所 委
月面歩行と転倒予防に関する研究(その3)	里宇明元	医学部臨床教室	3,900,000 円	補 ○ 独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 委
消化管がん内視鏡的治療法の標準化に関する研究	浦岡俊夫	医学部クラスター部門	500,000 円	補 ○ 独立行政法人国立がん研究センター 委
同種造血幹細胞移植後のQOL向上のための体制についての研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 独立行政法人国立がん研究センター 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
抗腫瘍抗原に対する免疫制御法の開発	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	1,200,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
わが国におけるResearch IND制度の構築に関する研究	今村知世	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
新規分子標的治療薬の開発に関する研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	2,700,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
横紋筋肉腫臨床試験	森川康英	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
脂肪滴とC型肝炎との関連の解明	杉山和夫	医学部寄附講座	1,500,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
婦人科領域の遺伝性腫瘍に関する検討	青木大輔	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
タモキシフェンの遺伝子多型研究と薬理動態試験	谷川原祐介	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
進行がん・末期がん患者に対するリハビリテーションの効果	辻哲也	医学部臨床教室	800,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
食道がんの周術期リハビリ介入による肺炎予防の効果ならびに患者QOLに関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	700,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
悪性黒色腫細胞に対する免疫応答の解明とそれに基づく免疫療法の開発	藤田知信	医学部附属先端医科学研究所	800,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
初期研修医に対する心のケアに関する教育プログラムの開発	白波瀬丈一郎	医学部臨床教室	700,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
食道がんの集学的治療の研究	北川雄光	医学部臨床教室	500,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
予後不良な漿膜浸潤胃がんの治療向上を目指す多施設共同試験	北川雄光	医学部臨床教室	900,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
胸部食道がん手術における口腔ケア/周術期リハビリ介入による術後肺炎予防効果の検討	北川雄光	医学部臨床教室	600,000 円	補 〇 独立行政法人国立がん研究センター 委
生理活性ペプチドのミトコンドリア機能調整作用機序の解明と臨床応用に向けた基盤的研究	伊藤裕	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 〇 独立行政法人国立循環器病研究センター 委
コホート研究成果の体系化とガイドラインへの適用の検討、生涯罹患リスクの算出と介入研究の応用	岡村智教	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 〇 独立行政法人国立循環器病研究センター 委
小児の頭蓋顔面形態異常の診断と治療法に関する基盤的研究	永竿智久	医学部臨床教室	2,350,000 円	補 〇 独立行政法人国立成育医療研究センター 委
皮膚バリア機能障害評価法の確立と分子補充療法の開発	海老原全	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 〇 独立行政法人国立成育医療研究センター 委
小児がん教育・情報センターの構築	黒田達夫	医学部臨床教室	500,000 円	補 〇 独立行政法人国立成育医療研究センター 委
神経変性に対する免疫学的介入研究	吉村昭彦	医学部基礎教室	600,000 円	補 〇 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 委
うつ病患者の復職判定における近赤外線スペクトロスコープ(NIRS)の有用性についての検討	三村将	医学部	1,500,000 円	補 〇 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 委
液性因子による変性骨格筋の再生療法の開発	福田恵一	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 〇 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
高齢者の自立支援に資する総合的研究:認知症高齢者を含む高齢者の移動・外出支援	三村将	医学部臨床教室	600,000 円	補 委 ○ 独立行政法人国立長寿医療 研究センター
日英米を結ぶ先端医学分野における国際共同研究	吉村昭彦	医学部基礎教室	26,847,000 円	補 委 ○ 独立行政法人日本学術振興 会
癌領域における基礎から臨床への翻訳能と国際競争力を有する次世代リーダーの育成	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究 所	35,083,177 円	補 委 ○ 独立行政法人日本学術振興 会
ベルギーとの共同研究	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 委 ○ 独立行政法人日本学術振興 会
日白の人種や食文化の違いによる機能性ディスペプシアの 症状発現と病態機序の比較検討	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 委 ○ 独立行政法人日本学術振興 会
ベルギーとの共同研究(FWO)	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 委 ○ 独立行政法人日本学術振興 会
心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的展開	岡野栄之	医学部基礎教室	237,229,010 円	補 委 ○ 内閣府
細胞分裂制御(対称・非対称分裂)の操作による造血幹細胞 増幅	新井文用	医学部坂口光洋記念講 座	113,467,335 円	補 委 ○ 内閣府
骨ネットワーク医学の分子基盤の解明と臨床応用	竹田秀	医学部寄附講座	61,230,000 円	補 委 ○ 内閣府
トランスポゾンと他の遺伝子を区別する仕組みーゲノムにお ける自己と非自己認識システムー	齋藤都暁	医学部基礎教室	53,911,000 円	補 委 ○ 内閣府
指定寄附	大前和幸	医学部基礎教室	300,000 円	補 委 ○ 日本化学繊維協会
加齢によるマイボーム腺機能不全ドライアイの病態生理	イブラヒム, オサマ モハ メド アリ	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 委 ○ 文部科学省
脊髄損傷後の反応性アストロサイトの移動性獲得メカニズム	ルノー三原フ ランソワ	医学部臨床教室	910,000 円	補 委 ○ 文部科学省
アクアポリン4ノックアウトマウスを用いた新規視神経脊髄炎モ デルの作製とその解析	阿部陽一郎	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 委 ○ 文部科学省
子宮内胎児発育遅延モデルにおけるネフロン数減少機序解明 とその治療法の開発	粟津緑	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 委 ○ 文部科学省
アクアポリン4の蛋白複合体とアレイ構造による機能制御に関 する研究	安井正人	医学部基礎教室	4,550,000 円	補 委 ○ 文部科学省
線維化における単球の役割	安岡秀剛	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 委 ○ 文部科学省
組織低酸素イメージングを応用した肺癌の悪性度解析ー病理 所見との対比	安楽真樹	医学部	1,820,000 円	補 委 ○ 文部科学省
ヒト歯髄幹細胞特異マーカーによる予期的分離と性状解析	安居孝純	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 委 ○ 文部科学省
難治性前立腺癌の進展に着目したAKTーMTORシグナル経 路制御による新規治療戦略	安水洋太	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 委 ○ 文部科学省
心筋梗塞後創傷治療過程における骨髄由来樹状細胞の役割	安西淳	医学部臨床教室	2,990,000 円	補 委 ○ 文部科学省
再髄鞘化による脊髄の再生ー細胞移植療法で得られる機能回 復メカニズムの解明ー	安田明正	医学部総合医科学研究 センター	1,560,000 円	補 委 ○ 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
外科的侵襲後の敗血症急性肺損傷モデルにおけるHMGB1の動態と治療法の開発	安倍晋也	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳虚血における分泌型白血球ペプチダーゼ阻害物質(SLPI)の役割	安部貴人	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規病態スペクトラムALS/FTLD-Uにおける分子病態の解明	伊東大介	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳表人工膜内新生血管の脳梗塞予防・縮小効果	伊藤義彰	医学部臨床教室	5,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
セルメタボリズムの心血管内分泌代謝学的解析とメタボリックシンドローム包括医療応用	伊藤裕	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ADAM10が制御するNotchシグナル伝達の骨代謝への関与	依田昌樹	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血幹細胞の分化様式の解析	依馬秀夫	医学部坂口光洋記念講座	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血幹細胞の運命を支配するG2期細胞内シグナルの解析	依馬秀夫	医学部坂口光洋記念講座	3,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
クローン病の病態における細胞内寄生細菌に対するオートファジー機能異常の重要性	井上詠	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮腔内液性因子に注目した着床不全の病態解明と治療法の開発	井上治	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺悪性腫瘍に対する凍結融解療法の成績向上, 普及に向けて:至適条件の解明と臨床応用	井上政則	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シナプス小胞融合の可視化による小脳顆粒細胞のプレシナプス活性の解析	井端啓二	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNA解析による頭頸部癌・婦人科癌の発癌機構の解明と新規治療戦略	宇野光祐	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頭頸部癌における上皮間葉移行の癌幹細胞調節機構	羽生昇	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天性胸郭変形症に対する矯正手術における、術後形態予測システムの開発	永竿智久	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞の分化抵抗性解析による安全性の確保	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞ニッチの同定とアンカリングポイントの解析	永尾圭介	医学部臨床教室	7,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「がん幹細胞を標的とした根治療法の開発」(酸化ストレス回避機構を標的とした癌幹細胞治療戦略の考案)	永野修	医学部附属先端医科学研究所	20,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
接着分子CD44による癌細胞糖代謝制御機構の解明とその阻害に基づく癌治療薬の開発	永野修	医学部附属先端医科学研究所	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
さまざまな臓器からの培養線維芽細胞による毛包誘導	越智あみ	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNAによる骨細胞分化調節機構の解明	越智広樹	医学部臨床教室	1,469,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転移因子とArgonauteの軍拡競争からゲノムの進化を探る	塩見春彦	医学部基礎教室	31,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
「非翻訳RNAによる高次細胞機能発現機構の解明」 (Argonaute蛋白質の構造-機能相関)	塩見春彦	医学部基礎教室	7,700,000 円	補 文部科学省 委 ○
アトピー性皮膚炎原因候補遺伝子ma1の機能解析と皮膚炎 発症の分子機構解明	塩濱愛子	医学部共同利用研究室	2,730,000 円	補 文部科学省 委 ○
凍結療法における新規凍結端子の開発	奥井将之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 文部科学省 委 ○
新規MR転写共役因子の同定とその機能解析	横田健一	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 文部科学省 委 ○
表皮角質層・タイトジャンクションバリアの生成維持、制御メカニ ズムの解明	横内麻里子	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 文部科学省 委 ○
酸化LDLコレステロールと潜在性動脈硬化症、生活機能の関 連についての地域疫学研究	岡村智教	医学部基礎教室	3,770,000 円	補 文部科学省 委 ○
生物学的製剤抵抗機序におけるヒト腸内細菌フローラパター ンの経時的変化	岡沢啓	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 文部科学省 委 ○
メタロプロテアーゼによる組織内微小環境因子代謝の作用機 構解明と制御	岡田保典	医学部基礎教室	14,040,000 円	補 文部科学省 委 ○
分化能と造腫瘍性から追るヒトiPS細胞の品質決定機構の解 析	岡田洋平	医学部総合医科学研究 センター	8,450,000 円	補 文部科学省 委 ○
ヒトES細胞の神経分化を制御するノンコーディングRNAの解 析	岡田洋平	医学部総合医科学研究 センター	2,080,000 円	補 文部科学省 委 ○
パーキンソン病患者由来ヒトiPS細胞を用いたシナプス病態の 解析	岡田洋平	医学部総合医科学研究 センター	5,590,000 円	補 文部科学省 委 ○
ヒト胎児付属物由来間葉系細胞と心筋分化誘導分子による重 症心不全治療の実現	岡本一真	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 文部科学省 委 ○
「先端的遺伝子導入・改変技術による脳科学研究のための独 創的霊長類モデルの開発と応用」(遺伝子改変コモンマーモ セットによるヒト神経疾患モデルの開発)	岡野栄之	医学部基礎教室	30,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
「再生医療の実現化を目指したヒトiPS細胞・ES細胞・体性幹細 胞研究拠点」	岡野栄之	医学部基礎教室	652,030,940 円	補 文部科学省 委 ○
幹細胞医学のための教育研究拠点	岡野栄之	医学部基礎教室	223,144,000 円	補 文部科学省 委 ○
バルブ酸ナトリウム胎内曝露が大脳皮質発生に与える影響 に関する研究	下郷幸子	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 文部科学省 委 ○
マルチガス環境構築によるニッジェ環境	加藤靖浩	医学部基礎教室	780,000 円	補 文部科学省 委 ○
新規ヘム標的タンパク質HSP27の細胞防御制御機構の解明	加部泰明	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 文部科学省 委 ○
リプログラミングによるヒト心臓線維芽細胞から心筋細胞への 直接誘導	家田真樹	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 文部科学省 委 ○
心筋へのリプログラミングを誘導するエピジェネティック因子、 マイクロRNAの同定	家田真樹	医学部寄附講座	8,190,000 円	補 文部科学省 委 ○
体脂肪分布、血中脂肪酸分画、フィットネスに及ぼす2種類の 運動介入の効果の比較検討	河合俊英	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 文部科学省 委 ○
南関東圏における先端的がん専門家の育成 -患者中心のチーム医療を牽引する人材養成の拠点づくり-	河上裕	医学部附属先端医科学 研究所	31,600,000 円	補 文部科学省 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
抗腫瘍免疫ネットワークのキー操作技術開発による効果的な複合がん免疫療法の構築	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	18,720,000 円	補 〇 文部科学省 委
ヒト悪性黒色腫におけるmiRNAの機能解明と診断・治療法開発への応用	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
「効果的な複合免疫療法の確立」	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	40,000,000 円	補 〇 文部科学省 委
間葉系幹細胞の生体内における局在・動態・生理学的機能の解明	河村佳見	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
エイジングによる肝再生能の変化と肝幹細胞の役割—肝移植の知見に基づく基礎的検討	河地茂行	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
ヘモグロビン小胞体を用いたドナー肺の機能改善及び評価、保存	河野光智	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 〇 文部科学省 委
自己抗原特異的IgMモノクローナル抗体による天疱瘡発症機序解明と治療法の開発	角田和之	医学部臨床教室	2,860,000 円	補 〇 文部科学省 委
新規D-セリンシグナリングを介したシナプス可塑性および記憶・学習制御機構の解明	掛川渉	医学部基礎教室	10,270,000 円	補 〇 文部科学省 委
代謝解剖学的アプローチによるガス分子受容・生成系を標的とした脳血流制御機構の解明	梶村真司	医学部基礎教室	650,000 円	補 〇 文部科学省 委
オピオイドのがん細胞増殖ならびに幹細胞分化に及ぼす影響	葛巻直子	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 〇 文部科学省 委
制御性T細胞の機能のダイナミズムを制御する分子メカニズムの解明	関谷高史	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 〇 文部科学省 委
改良型シグナルシークエンストラップ法による雌性生殖腺幹細胞の新規蛋白質の探索	丸山哲夫	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
レット症候群病態におけるNF-κBシグナル関与の解析	岸憲幸	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
炎症性腸疾患の基盤的免疫学から臨床免疫内視鏡学の創成	岩男泰	医学部中央診療施設等	2,210,000 円	補 〇 文部科学省 委
卵巣癌における間質細胞・間葉系幹細胞による免疫抑制機構の解明と克服法の開発	岩田卓	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委
細胞凝集塊形成による線維芽細胞からの遺伝子操作を加えない幹細胞の作成	貴志和生	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
培養ヒト線維芽細胞・表皮角化細胞を用いた毛包再生	貴志和生	医学部臨床教室	6,370,000 円	補 〇 文部科学省 委
多発性筋炎／皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎の病態解析と新規治療に関する研究	亀田秀人	医学部臨床教室	650,000 円	補 〇 文部科学省 委
転写因子を制御した新規尿路上皮癌治療戦略の確立	菊地栄次	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 〇 文部科学省 委
化学物質評価のためのヒト型P450を持つメダカの作製	吉岡範幸	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 〇 文部科学省 委
ラッセル・シルバー症候群におけるエピジェネティック機構の解明	吉橋博史	医学部	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
多施設共同レジストリの構築による急性心不全の病態把握の試み	吉川勉	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 〇 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
サイトカインによる炎症と抗炎症のバランス制御機構の解明	吉村昭彦	医学部基礎教室	18,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
T細胞分化のシステムバイオロジー	吉村昭彦	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
幹細胞への時空間的介入による雌性生殖器官の再構成と機能制御	吉村泰典	医学部臨床教室	42,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠腫における個別化治療の確立(特に術前化学療法への適応について)	吉田一成	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ケラチン12-蛍光タンパク質レポーターを用いた角膜上皮細胞への運命決定機構の解析	吉田悟	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
網膜色素変性症患者から樹立したiPS細胞の遺伝子治療および病態モデルサルへの移植	吉田哲	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
パフィロマイシンを用いた表在性・浸潤性膀胱癌細胞に対する治療戦略の確立	吉峰俊輔	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シェーグレン症候群新規治療薬としてのBAFFシグナル阻害物質の探索	吉本桂子	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト卵巣凍結の臨床応用に向けた基礎的検討～手術および凍結の技術革新～	久慈直昭	医学部臨床教室	5,070,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アルツハイマー病における細胞老化因子Ecrg4の解析-受容体同定から創薬に向けて	久住呂友紀	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳皮質形成を制御する分子メカニズムの解明	久保健一郎	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
発生期網膜における血管先端細胞と神経系細胞のクロストーク	久保田義頭	医学部総合医科学研究センター	20,150,000 円	補 ○ 文部科学省 委
創傷治癒血管新生の「質」を規定するメカニズムの解析	久保田義頭	医学部総合医科学研究センター	5,070,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗炎症物質レスベラトロールによる糖尿病網膜症への治療効果の解析	久保田俊介	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TOF-SIMS(飛行時間型質量分析)顕微鏡を用いた角質バリア機能可視化法の開発	久保亮治	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞と表皮タイトジャンクションによる動的表皮免疫バリア機構の解析	久保亮治	医学部総合医科学研究センター	13,780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞極性可視化トランスジェニックマウスを用いた生体内細胞融合の解析	及川司	医学部総合医科学研究センター	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞融合メカニズムから追る、ポドソーム形成の新たな意義	及川司	医学部総合医科学研究センター	9,100,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣選択的プロテアーゼ <sup>Prss35</sup> の酵素特性と霊長類の卵巣内発現に関する検討	宮越敬	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心血管ホルモンによるミトコンドリアを介した酸素利用制御の病態生理学的意義の解明	宮下和季	医学部寄附講座	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨髄腫幹細胞の同定と機能解析	宮川義隆	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
降膜癌株化細胞におけるTGF誘導Leftyの発現機序及び機能解析	宮田直輝	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
ホルモン不応性前立腺癌における、微小環境に着目したマイクロRNAの機能解析	宮嶋哲	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写抑制因子Blimp1によるエピジェネティック制御を介した破骨細胞分化制御機構	宮内芳輝	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢と骨代謝制御	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ダウン症モデルマウスを用いた新規心奇形原因遺伝子の同定	宮本憲一	医学部共同利用研究室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ケロイド・肥厚性瘢痕発症原因の力学的解明と臨床治療への応用	宮本純平	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳筋電図コヒーレンスのメカニズムを筋感覚フィードバックの視点から解明する	牛山潤一	医学部臨床教室	3,120,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TLR5活性化におけるLRRCTドメイン2量体化の役割の解明	魚住尚紀	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト幹細胞培養システムを基盤とした小児重症心不全に対する新規治療法の構築	饗庭了	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス正所性前立腺癌骨転移モデルの作成	金井邦光	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫系リセットによる炎症性腸疾患の画期的根治療法の開発	金井隆典	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自己類似腸内細菌フローラに対する免疫寛容とその破綻による炎症性腸疾患発症解明	金井隆典	医学部臨床教室	4,700,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内臓脂肪リモデリング・インスリン抵抗性におけるヒトC反応蛋白及びTACEの役割	金子英弘	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎癌肺転移における転移形成前の微小環境に着目した転移制御機構	金子剛	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
関節リウマチにおける関節破壊予測因子の同定とテーラーメイド治療の実現	金子祐子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
排他的に発現する分子を、協調的に発現している抑制性神経細胞の由来特定	金谷繁明	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス網膜臨界期に形成されるプリン受容体神経回路	金田誠	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ジヒドロピリジン系Ca拮抗薬のミネラルコルチコイド受容体拮抗作用に関する検討	栗原勲	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
顔面神経麻痺に対する臨床応用が可能な遺伝子治療の開発	栗田昭宏	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経軸索伸展期からシナプス形成期への移行を司る遺伝子発現制御プログラムの解析	桑子賢一郎	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症の病態における骨髄由来細胞の役割の解明	桑名正隆	医学部臨床教室	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトiPS細胞からの網膜神経節細胞の分化誘導系の確立ならびに緑内障の病態解明	結城賢弥	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心房細動における自律神経の薬理学的修飾	元田博之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
マーマセツト低侵襲脳梗塞モデルを用いた脳梗塞に対する細胞療法・神経再生治療の開発	原晃一	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト骨髄由来破骨細胞前駆細胞の同定、及び細胞株の樹立	古川満	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト子宮内膜の生理機能および病態形成における上皮間葉転換の関与	古谷正敬	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺高血圧症における肺血管内皮のイノシトール3燐酸受容体を介するシグナル伝達機構	古道一樹	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍幹細胞における幹細胞性制御因子の解析	戸田正博	医学部臨床教室	5,850,000 円	補 ○ 文部科学省 委
オートファジー誘導による内耳保護作用の新規分子標的治療への応用	五島史行	医学部	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新しい低侵襲治療「非穿孔式内視鏡的胃壁内反切除術」に関する基礎実験	後藤修	医学部クラスター部門	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
mRNAの局在による膜蛋白質の翻訳後修飾の制御	後藤聡	医学部総合医科学研究センター	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規糖鎖制御遺伝子による糖転移酵素mRNAの制御メカニズム	後藤聡	医学部総合医科学研究センター	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢黄斑変性に対する水素ガスによる抗酸化療法の効果の解析	厚東隆志	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管内皮増殖因子受容体に対する低分子量基底膜蛋白質AZ-1の阻害機構	向井邦晃	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ラット脊髄損傷モデルにおける運動負荷の効果メカニズム検討	向野雅彦	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
真の全エクソン解読を達成するための改良エクソーム解析法の開発	工藤純	医学部共同利用研究室	6,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮間葉転換癌細胞の骨髄集積による全身性免疫抑制機構の解明	工藤千恵	医学部附属先端医科学研究	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Cbln-デルタ1グルタミン酸受容体系のシナプス可塑性における機能解明と精神疾患	幸田和久	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
患者iPS細胞を用いた肥大型心筋症の病態解析	江頭徹	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳室下帯特異的発現遺伝子の脳新皮質形成における役割の解明	荒巻道彦	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アストロサイト容積調節機構における酸素依存的アクアポリン4の機能制御機構	行武良哲	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトの意思決定の神経基盤研究—発症時パーキンソン病患者の行動経済学的解析—	高橋一司	医学部臨床教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経前駆細胞の細胞周期恒常性維持にエピジェネティクス機構が果たす役割に関する研究	高橋孝雄	医学部臨床教室	6,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌ネオアジュバント症例を用いた化学療法前後におけるALDH陽性癌幹細胞の推移	高橋麻衣子	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺特異的遺伝子翻訳阻害モデルを用いた肺気腫の病態解明と治療開発	高橋祐介	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
自己免疫疾患における制御性T細胞の可塑性の意義	高橋令子	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸管NK細胞の炎症性腸疾患への関与の解明及び細胞集団の移行性の検討	高山哲朗	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高齢者の食習慣と虚弱、骨粗鬆症、認知機能障害の発症に関する統合栄養疫学研究	高山美智代	医学部附属クリニカルリサーチセンター	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系幹細胞におけるBMP2/PPAR $\gamma$ シグナルクロストークの解析	高田伊知郎	医学部基礎教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ROR $\gamma$ t, SMAD2/3転写共役因子複合体精製と機能解析	高田伊知郎	医学部基礎教室	4,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳死下あるいは心停止後臓器提供を行なったドナー家族の体験	高田幸江	看護医療学部	130,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子Fra-1による骨形成の解明とその4次元解析	高田康成	医学部共同利用研究室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天性下垂体機能低下症におけるゲノムワイドコピーナンババリエーション解析	高木優樹	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いたPelizaeus-Merzbacher病の病態解明研究	黒岩佑子	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス肺癌に対する凍結融解壊死療法は他部位転移にも発育抑制効果を及ぼす	黒田浩章	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「重症高アンモニア血症を生じる先天性代謝異常症に対するヒト胚性幹(ES)細胞製剤に関する臨床研究」(先天異常症に対するヒト胚性幹(ES)細胞製剤の移植法の開発)	黒田達夫	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カルシウムオシレーション非依存的破骨細胞分化を担う分子群の探索と同定	黒田有希子	医学部総合医科学研究センター	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EMT(上皮間葉転換)を誘導する分子機構を標的とした頭頸部癌転移治療の研究	今西順久	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
スペシャル・ポピュレーションに対する抗がん剤の至適投与量・用量調節指標の探索	今村知世	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
SOD1ノックアウトマウスを用いたドライアイ発症における上皮間葉移行の検討	根岸一乃	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠腫における分子生物学的分類と個別化治療の確立	佐々木光	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病モデルマウスにおける抗酸化物質ルテインによる網膜神経保護効果の解析	佐々木真理子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前転移ニッチの性状解析に基づく癌転移抑制戦略の考案	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
人工痛幹細胞を用いた治療抵抗性克服戦略の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	33,670,000 円	補 ○ 文部科学省 委
グリオブラストーマ痛幹細胞モデルを用いた薬剤抵抗性及び浸潤性克服戦略の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	13,650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
うつ病に対する認知行動療法の費用対効果および財政的インパクトに関する研究	佐渡充洋	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
臨床応用を視野に入れたヒト腸管上皮幹細胞の純化と培養法の開発	佐藤俊朗	医学部寄附講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
「がん幹細胞を標的とした根治療法の開発」(大腸がん幹細胞を標的とした創薬スクリーニング)	佐藤俊朗	医学部寄附講座	7,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
喫煙(ニコチン)による胎児・小児の骨軟骨成長障害に関する研究	佐藤和毅	医学部臨床教室	910,000 円	補 文部科学省 委 ○
包括的ストレス応答の心臓における病態生理学的意義の検討	佐野元昭	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 文部科学省 委 ○
免疫学的介入による心筋梗塞後リモデリング予防法の開発	佐野元昭	医学部臨床教室	7,150,000 円	補 文部科学省 委 ○
脱ユビキチン化酵素による骨代謝調節の分子機構の解明	砂村聡子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 文部科学省 委 ○
造血幹細胞の単一細胞単位での非対称分裂機構の解析	細川健太郎	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 文部科学省 委 ○
周産期出血における子宮動脈NBCA リピオドール塞栓術の基礎研究	細川崇洋	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 文部科学省 委 ○
「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」(肝がんの多施設検体コホートに基づく難治性規定分子の同定と分子標的治療の開発における分子病理診断マーカーの開発)	坂元亨宇	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
G蛋白共役型受容体GPR49/LGR5のヒト組織並びに疾患における発現・機能解析	坂元亨宇	医学部基礎教室	4,810,000 円	補 文部科学省 委 ○
Tissue Biology の基盤形成による癌の病態解明と革新的診断・治療法の開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	9,000,000 円	補 文部科学省 委 ○
肥厚性瘢痕モデルにおけるT細胞の機能	坂本好昭	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 文部科学省 委 ○
エピジェネティックに制御される遺伝子を標的とした子宮体癌に対するRNA医薬	阪埜浩司	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 文部科学省 委 ○
悪性黒色腫シグナル伝達異常による免疫療法抵抗性の解明と克服法の開発	桜井敏晴	医学部附属先端医科学研究所	1,560,000 円	補 文部科学省 委 ○
異性体セリン混入異常タンパク質に注目した筋萎縮性側索硬化症の新規治療標的の開発	笹部潤平	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 文部科学省 委 ○
生体内神経前駆細胞におけるp27Kip1の核内移行メカニズムに関する研究	三橋隆行	医学部寄附講座	1,170,000 円	補 文部科学省 委 ○
血管平滑筋特異的(プロ)レニン受容体欠損が起こす著明な血管繊維化発症機構の解明	三戸麻子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 文部科学省 委 ○
内在性小分子esiRNA機能にかかわる核内外輸送機構の役割	三好啓太	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 文部科学省 委 ○
EMT誘導因子をターゲットとした腎細胞癌の分子標的治療	三上修治	医学部中央診療施設等	2,210,000 円	補 文部科学省 委 ○
クローナルコンペティションによる炎症性腸疾患の病態解明と新規治療法の開発	三上洋平	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	補 文部科学省 委 ○
認知症と高次脳機能障害における運転能力の総合的評価	三村將	医学部臨床教室	910,000 円	補 文部科学省 委 ○
血中ステロイド一斉測定および病理組織検体を用いた超早産児の副腎機能の検討	三輪雅之	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 文部科学省 委 ○
心臓流出路を形成する細胞の発生分化と相互作用を制御する分子機構	山岸敬幸	医学部臨床教室	5,460,000 円	補 文部科学省 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
新鮮遺体を用いたMDCTによるリンパ管立体解剖の解析	山崎俊	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜症病態メカニズムに関与するリポキシゲナーゼ経路関連因子の解析	山崎彰子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ファージ提示法を基礎技術とした天疱瘡における自己抗体の解析	山上淳	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新たなヒト・リンパ球ナチュラル・ヘルパー細胞の同定と疾患への関与	山田健人	医学部基礎教室	8,320,000 円	補 ○ 文部科学省 委
GPIアンカー修飾はmRNAの局在によって制御されているか	山本美紀	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一酸化炭素によるメチル化シグナルを介した新しい糖代謝リモデリング機構の解明	山本雄広	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
単一細胞遺伝子増幅とcDNA再利用定量PCRを用いた卵子形成過程の遺伝子発現解析	持丸佳之	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病網膜症モデルにおけるHIF1- $\alpha$ の役割	持丸博史	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高血圧発症における「塩分メモリー」の解析とその分子機序の検討	篠村裕之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
sRAGEに着目した脳死移植時代のあらたな肝、小腸虚血再灌流障害抑制法の開発	篠田昌宏	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高脂肪食の網膜および視機能への影響の分子メカニズムの解析	篠田肇	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳死腎移植臨床応用へ向けた生体内制御性樹状細胞誘導による免疫寛容誘導法の検討	篠田和伸	医学部臨床教室	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ミネラルコルチコイド受容体関連高血圧の分子病態の解明と新規治療法の確立	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性疼痛に関わる感覚神経のネットワーク形成メカニズムの解明と治療法開発	芝田晋介	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚バリア機能障害と喘息発症との関連	若木美佐	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
補中益気湯による抗インフルエンザ作用機構の解明	宗形佳織	医学部クラスター部門	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
毛髪を成長・維持させる重要遺伝子のノックダウンマウス作製による網羅的同定	渋谷和憲	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超拡大内視鏡によるリアルタイム炎症性腸疾患診断への挑戦	緒方晴彦	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新たに発見した"ナチュラルヘルパー細胞"の機能解明	小安重夫	医学部基礎教室	42,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委
医歯薬学分野ならびに総合生物学分野に関する学術研究動向調査研究及び科研費分科細目の改正に係るフォローアップ	小安重夫	医学部基礎教室	6,805,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内分泌臓器に対する凍結療法凍結解凍サイクルと至適プロトコルの検討	小黒草太	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「再生医療研究における倫理的課題の解決に関する研究」(再生医療研究に関わる研究者意識およびコンテンツの調査研究)	小崎健次郎	医学部クラスター部門	7,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
オリゴDNAアレイCGH法による25種の先天異常症候群の遺伝子内欠失の網羅的解析	小崎健次郎	医学部クラスター部門	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外来化学療法におけるオンコロジーエマーゼンシーの安全ケア保証統合システム開発	小松浩子	看護医療学部	8,970,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝性乳がんの予防・早期発見、管理をめざす統合的ケアプラットフォーム	小松浩子	看護医療学部	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫寛容破綻による自己免疫性難聴トランスジェニックマウスモデルの樹立とその解析	小川郁	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ドナー由来間葉系幹細胞による眼慢性移植片対宿主病の発症機構と新規治療法の開発	小川葉子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
光障害に対するルテインの網膜保護効果の解析	小泉春菜	医学部	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
再生に向けたヒト人工多能性幹細胞を用いた網膜変性疾患の病態解明	小沢洋子	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心筋細胞分化の段階的DNAメチル化プロファイリングと幹細胞分化能評価ツールの開発	小田真由美	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
全ゲノム連鎖解析により7番染色体にマップされた非症候群性家族性難聴原因遺伝子探索	小島サビヌ 和子	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
プラナリアの有性化を誘導するD体トリプトファンの作用機構の解明	小林一也	医学部総合医科学研究センター	6,240,000 円	補 ○ 文部科学省 委
プラナリア有性化に伴うGSC/ニッチ・システムの誘導機構	小林一也	医学部総合医科学研究センター	16,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アレルギー感受性を規定するIgE産生B細胞の分子制御機構と細胞動態の解明	小林隆志	医学部総合医科学研究センター	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自然炎症を制御するTRAF6シグナルの分子機構の解明と内因性リガンドの同定	小林隆志	医学部総合医科学研究センター	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
クローン病における好中球殺菌機構の解析	松岡克善	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト皮下脂肪組織からの新規分化誘導法による血小板産生	松原由美子	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝子改変マダカを用いた悪性黒色腫モデル系の構築	松崎ゆり子	医学部附属先端医科学研究所	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
レポーター遺伝子導入による間葉系幹細胞の未分化性維持と分化様式の解明	松崎有未	医学部総合医科学研究センター	6,110,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺上皮細胞におけるABCA3トランスポーターとイオンチャネルの機能関連の検討	松崎陽平	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
分泌型シナプス形成因子と受容体の複合体によるシナプス分化及び神経回路構築機構	松田恵子	医学部基礎教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞内輸送機構による神経機能の制御	松田信爾	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リポソーム法を用いたIL-21・15遺伝子導入の併用による再発予防に関する研究	松島将史	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
実験小動物用 3DマイクロX線CT(R_mCT2)	松尾光一	医学部共同利用研究室	19,753,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
破骨細胞・骨芽細胞・骨細胞の連関による骨リモデリング解明	松尾光一	医学部共同利用研究室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カールツァイスマイクロイメージング共焦点顕微鏡スペクトルイメージャー	松尾光一	医学部共同利用研究室	19,753,000 円	補 ○ 文部科学省 委
KOA Facility の共用促進事業	松尾光一	医学部共同利用研究室	30,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PTEN遺伝子導入による膀胱癌の浸潤転移予防についての同所性モデルを用いた検討	松本一宏	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
キレート硬化型骨セメントをスキャフォールドとした再生骨の脊椎固定術への応用	松本守雄	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規ステロイド産生細胞ミトコンドリア特異的蛋白OSAPの機能に関する研究	松本直	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アンギオテンシン受容体阻害薬による活性化ヒト間葉系幹細胞による心臓再生医療	沼澤洋平	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前立腺癌の進展におけるケモカインと腫瘍関連マクロファージの機能解析と発現制御	城武卓	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
microRNAによる癌治療抵抗性機構の解明と悪性脳腫瘍の診断法・治療法の開発	植田良	医学部附属先端医科学研究所	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超高齢期における慢性腎臓病のバイオマーカーと臨床的意義の検討	新井康通	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カロリー制限によるミトコンドリア機能制御機構の解明	新村健	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域生活する統合失調症患者のサクセスフル・エイジング	新村秀人	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外来で治療を受け続ける再発大腸がん患者の「生を繋いで行く力」支援プログラムの構築	新藤悦子	看護医療学部	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
経頭蓋直流電気刺激による脳卒中患者への脳可塑性の誘導	新藤恵一郎	月が瀬リハビリテーションセンター	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
急性期重症患者擬似モデルにおける高血糖惹起性腸内細菌動態と対応策	森崎浩	医学部臨床教室	3,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
消化管運動障害に対するカハールの介在細胞の再生医療	森昌玄	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌発生に並行する周囲間質細胞悪性転化メカニズムの解明	森川暁	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発	森川康英	医学部臨床教室	7,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
SOCS1による濾胞性ヘルパーT細胞の分化及び機能制御の解明	森田林平	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎疾患iPS細胞への応用のための腎構成細胞への分化誘導方法の確立	森貴隆司	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
酸素濃度による角膜幹細胞の分化・増殖制御機構の解明	榛村重人	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍幹細胞におけるMIFの機能解析	深谷雷太	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
悪性膠芽腫における放射線感受性の予測法開発と最適な線量分割法の基礎的検討	深田淳一	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
中耳疾患と中耳発生における耳小骨の破骨細胞の数と局在に関する解析	神崎晶	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌における内分泌治療耐性機序の解明とその臨床応用	神野浩光	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内腫瘍に頻発するMMR機構異常に伴う腫瘍免疫変化と抗癌剤ホルモン剤感受性変化	進伸幸	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高速スイッチング2重エネルギーCTの基礎的検討と臨床応用	陣崎雅弘	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ニッチによるがん幹細胞制御機構の解析	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	33,670,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血および白血病幹細胞ニッチの分子機構とその制御	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	20,280,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝硬変に伴う脾腫による血小板減少症の放射線治療	酢谷真也	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先端分析技術による、脳微小領域における虚血にตอบสนองした生理活性分子の探索と可視化	杉浦悠毅	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
白血病幹細胞のCD44による代謝制御メカニズムの解析	杉原英志	医学部附属先端医科学研究所	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
C型肝炎ウイルス持続感染培養肝細胞を用いた持続感染と代謝異常の機構解明	杉山和夫	医学部寄附講座	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前立腺癌に対するヨウ素125密封小線源療法後のPSAバウンスを予測する研究	菅原章友	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血液脳関門の防御機構を司る分子メカニズムの解明	菅田浩司	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞間ワイヤリングを基軸とする血液脳関門の制御機構	菅田浩司	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省 委
関節リウマチの病態を促進する単球と抑制する単球の解析	瀬田範行	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アルデヒド脱水素酵素遺伝子の変異による骨代謝の恒常性破綻機構の解明	星淡子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HOXB9と血管新生因子耐性機構「evasive resistance」の関係	星野好則	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系幹細胞/肝細胞を融合したスフェア移植による新しい重症肝障害の治療戦略	星野剛	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PhD躍動メディカルサイエンス人材養成	清家篤	医学部	83,076,923 円	補 ○ 文部科学省 委
「細胞と代謝」の基盤研究を担う若手育成	清家篤	医学部	185,365,385 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS由来再生心筋細胞移植の安全性評価	清家篤	医学部	80,917,200 円	補 ○ 文部科学省 委
テニュアトラック普及・定着事業(機関選抜型)	清家篤	医学部	24,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
熱ショックプロモーターによる筋分化調節因子の強制発現と再生分化誘導	清水厚志	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系悪性腫瘍(骨肉腫)の未分化性維持に関わる微小環境の解明	清水孝恒	医学部附属先端医科学研究所	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト疾患および体質個人差に関するゲノム多様性情報の統合データベース	清水信義	医学部基礎教室	4,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗癌剤の奏効率向上を目指した腫瘍新規治療標的へのアプローチ	西弘二	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HMGCoA-1制御による小腸虚血再灌流障害の抑制法の開発と小腸移植への応用	西山亮	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
プロテオミクスによるヒト子宮内膜機能を担うシグナル分子群の探索	西川明花	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Pho85サイクリン依存性キナーゼによる環境ストレス応答と細胞周期制御の同調機構	西沢正文	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
食道癌におけるCXCR2発現の臨床的意義の解明と新しい痛集学的治療法の開発	西知彦	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ショウジョウバエpiRNA生合成経路におけるTudorの機能解析	西田知訓	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
筋萎縮性側索硬化症におけるLIN28の細胞生存寄与に関する研究	西本祥仁	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
がんのメタボロームに着目した抗がん剤耐性克服へのアプローチ	西牟田章戸	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
機能的スクリーニング法を用いた子宮体癌関連マイクロRNAの探索と核酸医薬への応用	青木大輔	医学部臨床教室	5,070,000 円	補 ○ 文部科学省 委
整形外科領域の抗菌性生体材料の開発と感染性疾患の治療	石井賢	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
敗血症におけるエピジェネティック制御機構の検討	石井誠	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Star欠損マウスのステロイドホルモン産生細胞におけるトランスクリプトーム解析	石井智弘	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HSP27を標的とした新しい大腸癌治療法の開発	石井良幸	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌の発癌、再発、進展における芳香族炭化水素受容体発現の意義	石田勝	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞周期制御分子Cdh1の造血管特異的不活化による細胞分化制御機構の解明	石澤丈	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
異所性子宮内膜症から卵巣明細胞癌および類内膜腺癌への悪性転化機構に関する検討	赤羽智子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚から直接誘導した神経幹細胞の移植治療効果と安全性の検討	赤松和土	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腰椎椎間板変性の原因解明と新たな治療法開発に関する基礎的研究	千葉一裕	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
放射線抵抗性静止期癌細胞の損傷修復遺伝子抑制による新たな治療方法の開発	川口修	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
癌幹細胞の誤修復誘導による放射線増感を利用した新たな治療戦略の開発	川田哲也	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームマウスにおける涙液分泌低下の発症機序と制御機構の解明	川島素子	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経細胞の最終分化過程と樹状突起成熟における細胞内ロジスティクス制御機構の解明	川内健史	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省 委
分化相において細胞周期関連分子が正常脳形成および病態脳への変換に果たす役割の解明	川内健史	医学部基礎教室	2,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カロリー制限ラットにおける涙液分泌能維持機構の解明	川北哲也	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌における低酸素トレーサーFAZA集積領域の臨床腫瘍生物学的解析	泉陽太郎	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
トキソプラズマ原虫に特異的なGTP-PKの基質供給経路の解明	浅井隆志	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎臓由来間葉系幹細胞を用いた閉塞性腎症に対する新規治療方法の確立	浅沼宏	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
難治性炎症性肺疾患の病態におけるPGD2/CRTH2経路を介した免疫制御機構	浅野浩一郎	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
化学療法抵抗性大腸癌におけるCDX2およびチロシンキナーゼの相関とメカニズム	船越信介	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス閉塞性水腎症に対する新規AP-1阻害剤による腎線維化の制御	前田高宏	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心臓・四肢発生におけるHand遺伝子の組織特異的相補性	前田潤	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
無性プラナリアに生殖器官を誘導するケミカルシグナルの研究	前澤孝信	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
D-セリン/ラセメース系による形態形成調節機序の包括的検討	相磯貞和	医学部基礎教室	13,650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌治療戦略におけるヘパリンとNF-κB阻害剤の役割と抗癌剤増強作用に関する検討	相浦浩一	医学部クラスター部門	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ATP加水分解スイッチ仮説に立脚したABCトランスポータ駆動メカニズムの解明	相馬義郎	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ABCトランスポータNBDエンジンにおけるATPエネルギー利用メカニズムの解明	相馬義郎	医学部基礎教室	7,670,000 円	補 ○ 文部科学省 委
次世代シーケンサーを用いた家族性心房細動の原因遺伝子検索	相澤義泰	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
口腔外科手術による中枢性感作の誘発に対する疼痛関連遺伝子多型の関連について	村岡渡	医学部基礎教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
喫煙による涙腺・眼表面ダメージのメカニズム解明	村戸ドール	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エピジェネティックな調節に基づく子宮頸部腫瘍の病態解明アプローチ	村上功	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PET/CTを用いた分肝機能評価法の確立に対する研究	村上康二	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
ヒト人工多能性幹細胞を用いた心筋分化メカニズムの解明および細胞移植療法への最適化	村田光繁	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗凝固療法、抗血小板療法における新規モニタリング指標の網羅的探索	村田満	医学部臨床教室	12,350,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究」(チロシンキナーゼ阻害剤治療における新たな治療標的の同定、薬剤耐性の解明及び克服、有効性予測を可能にするゲノムプロファイルの同定)	大家基嗣	医学部臨床教室	20,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
微小環境と臓器特異的転移に着目した腎細胞癌の発がん・進展のメカニズムの解明	大家基嗣	医学部臨床教室	4,810,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シード線源を用いた化学小線源療法の開発	大橋俊夫	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト人工がん幹細胞の樹立と悪性脳腫瘍モデルの構築	大西伸幸	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インジウム肺の自然史および発生メカニズムの研究	大前和幸	医学部基礎教室	25,220,000 円	補 ○ 文部科学省 委
顕微質量イメージングによる細胞周期依存蛍光標識ヒトがん細胞の生体内代謝動態の解明	大村光代	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CHDファミリーによる神経幹細胞およびグリオーマ幹細胞制御機構の解明	大多茂樹	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス皮膚創傷治癒において好中球エラスターゼが及ぼす効果の解析	大津貴子	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一酸化炭素とアデニン受容体の相互作用による肺移植後拒絶反応軽減の基礎的研究	大塚崇	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
誘導多能性幹細胞由来心筋細胞の機能解析および質の検討	大野洋平	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性黒色腫で特異的に発現するHistatin-1の機能解析、診断、治療への応用	谷口智憲	医学部附属先端医科学研究	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗がん剤反応性のプロテオーム・メタボローム解析に基づく個別化投薬の新戦略	谷川原祐介	医学部臨床教室	6,630,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非線形光学顕微鏡による水・脂質の直接観察に基づいた肺胞環境の維持・破綻機構の解明	池田一成	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
染色体ベクターによるゲノム解析法の確立	池野正史	医学部共同利用研究室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DNAマイクロアレイによる早期関節リウマチ病態形成分子の探索とその機能解析	竹内勤	医学部臨床教室	7,150,000 円	補 ○ 文部科学省 委
食道癌におけるケモカインネットワークを標的とした新しい癌治療法の開発	竹内裕也	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アストロサイトによるin vivoケトン体生合成機構の解明	中原仁	医学部総合医科学研究センター	8,060,000 円	補 ○ 文部科学省 委
翻訳リボソーム親和精製法による弓状核におけるインスリンシグナルの標的遺伝子の同定	中江淳	医学部寄附講座	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨軟部腫瘍におけるCD44およびADAM17の発現および機能解析	中山タラントロバート	医学部寄附講座	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系幹細胞一光硬化型ゼラチン複合体を用いた新規組織再生療法の確立	中川種昭	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
脊髄損傷に対する人工多能性幹細胞由来神経幹細胞移植の確立	中村雅也	医学部臨床教室	5,330,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一酸化炭素を介した骨組織細胞間ネットワークの解明	中村貴	医学部基礎教室	8,710,000 円	補 ○ 文部科学省 委
拡散強調MRスペクトラムによるCRPSモデルでの末梢浮腫発生メカニズムの解明	中村俊康	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝細胞を間葉系幹細胞でコートした新規細胞球状体構造の作製と移植モデル有用性の検討	中村由紀	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝、腎、副腎、軟部組織、骨における凍結治療時の温度変化と病理変化の研究	中塚誠之	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DNA二本鎖損傷依存性ヒストンユビキチン化による複製転写制御とゲノム安定性	中田慎一郎	医学部総合医科学研究センター	6,760,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ユビキチン化を介する相同組み換え修復制御機構の解明	中田慎一郎	医学部総合医科学研究センター	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝臓-腸管自然免疫細胞サーキュラーの破綻による自己免疫性肝臓炎症の本体	中本伸宏	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「生涯に亘って心身の健康を支える脳の分子基盤、環境要因、その失調の解明」(発生過程の可視化による海馬と大脳新皮質の形成機構の解明)	仲嶋一範	医学部基礎教室	25,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
動いて脳を作る細胞群の動態制御機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	35,880,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抑制性神経細胞の大脳皮質内への分配の制御機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
中枢神経系における神経細胞社会の構築機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	12,090,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TTP患者における抗ADAMTS13自己抗体高感度定量測定系の開発	猪狩敦子	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性胸膜中皮腫に対するオートファジー誘導薬物療法の開発	朝倉啓介	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
姿勢制御の学習能力評価の標準化と運動療法への応用	長谷公隆	医学部臨床教室	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
近位尿管特異的SIRT1過剰発現マウスの慢性腎臓病抑制効果の検証	長谷川一宏	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高機能磁性ナノ粒子を用いた大腸癌に対する高感度高効率診断・検診法の開発	長谷川博俊	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DUOX2遺伝子変異による先天性甲状腺機能低下症の有病率・臨床像・分子機序の解明	長谷川奉延	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ピロリ菌の持続感染力と薬剤耐性に関わる鉄獲得システム依存的抗酸化能発現機序	津川仁	医学部総合医科学研究センター	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞アレイによる卵巣癌抗癌剤効果予測システムの構築と分子標的薬の探索	津田浩史	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌細胞上のILT7/NKp44/BDCA2リガンド発現による免疫抑制機構の解明	塚本信夫	医学部附属先端医学研究所	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ブラジキニンB1受容体-ールシフェラーゼマウスを用いた慢性疼痛のライブイメージング	辻収彦	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
リンパ浮腫の定量的評価法の計量心理学的分析と使用指針の作成に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ドライアイの疾患メカニズムの解明	坪田一男	医学部臨床教室	5,850,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ドライアイ疾患における性差の分子メカニズム	坪田一男	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚科学分野に関する学術動向の調査研究	天谷雅行	医学部臨床教室	1,870,000 円	補 ○ 文部科学省 委
天疱瘡抗原に対する中枢性、末梢性免疫寛容機構の解明	天谷雅行	医学部臨床教室	38,480,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Phd/VHL/HIF-1 制御系を介した白血病幹細胞の代謝特性解明と標的療法開発	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素適応システムによる巨核球への分化・成熟過程の解析	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
急性呼吸不全における低分子G蛋白Rap1の役割と治療応用の可能性	田坂定智	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス心臓移植モデルを用いた内因性心臓交感神経刺激細胞の役割と病態生理の解析	田村雄一	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
哺乳類初期発生におけるリンカーヒストンとクロマチンのエピジェネティクス機構の解明	田中守	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌における抗痛剤投与に伴う血管新生亢進の機序の解明	田中伸之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳新皮質の系統発生メカニズムの解明	田中大介	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
発生過程の大脳皮質において、脳室下帯が形成される意義	田畑秀典	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HMGCoA 1 制御による劇症肝不全に対する新治療法の開発	田辺稔	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚リーシュマニア感染モデルを用いた宿主microRNAシステムの機能解析	田邊將信	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
第二高調波イメージングの応用による神経生理機能解析	塗谷睦生	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト肝癌転移モデルを用いた分子標的治療薬の機能解明	杜ぶん林	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内因性 I 型インターフェロン産生細胞を介した漢方薬の感染防御機構の研究	渡辺賢治	医学部クラスター部門	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリック症候群新規治療法を目指したβ酸化調節因子ACC2の発現制御機構解明	渡辺光博	医学部寄附講座	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
RIAM欠損血小板を用いたインテグリン活性化の分子機構の解明	渡邊直英	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腰椎部傍脊柱筋の手術侵襲に起因する筋変性・再生に関する組織学的検討	渡邊航太	医学部寄附講座	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
消化管炎症におけるDNA損傷の役割の解析	土井知光	医学部寄附講座	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
神経幹細胞の組織特異的な初期化	島崎琢也	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
幹細胞から神経・グリアへの分化機構解明	島崎琢也	医学部基礎教室	16,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
1型糖尿病発症を制御するHybrid Tregの同定	島田朗	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マーマーモセットをモデルとした多能性幹細胞由来神経幹細胞による脊髄損傷前臨床研究	嶋田弘子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リン酸化プロテオーム解析による白血病細胞のリン酸化異常の解明および治療への応用	嶋田博之	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームを合併した2型糖尿病患者における運動療法の体組成への影響	東宏一郎	医学部クラスター部門	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子を用いた心筋細胞分化誘導方法の開発	湯浅慎介	医学部総合医科学研究センター	8,060,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮頸癌発生に関与する腔内変異原分子の探索と検知機器開発の基礎的検討	藤井多久磨	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規疾患モデル樹立に向けた小型霊長類コモンマーマーモセットの聴器・側頭骨に関する検討	藤岡正人	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非流暢性失語症における言語賦活領域に対する経頭蓋直流電気刺激の効果	藤原俊之	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ステント再狭窄を予防・再開通する温度制御可能な無侵襲・局所温熱治療システムの開発	藤崎洋人	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
イムノグロブリンクラススイッチにおけるPI3Kによる制御機構の解析	藤猪英樹	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮癌での上皮-間葉転換による免疫抑制環境構築の分子機構解明とその臨床応用	藤田知信	医学部附属先端医科学研究所	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫細胞学的、再生医学的アプローチによる急性肺損傷の病態解明	藤島清太郎	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームにおける腎臓脂肪連関の解明	徳山博文	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TACEはTREM1のsheddingを介してmonocyteの活性を調節する	内川伸一	医学部寄附講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胎生期における肺血管の発生機構の分子生物学的解明と新規肺血管特異的新生因子の探索	内田敬子	医学部	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト着床におけるガドヘリンを介した子宮内膜腺上皮細胞層の再構築機序の解明	内田浩	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
統合失調症治療における個別化された薬物治療モデルの確立に関する研究	内田裕之	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高齢者における不定愁訴の原因解明とドライアイ罹患率の疫学的解析	内野美樹	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
活性酸素過剰発生モデルマウスを用いたドライアイ発症メカニズムの検証	内野裕一	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素応答のメタボローム解析から新しい虚血再灌流傷害治療法の開発へ	南嶋洋司	医学部基礎教室	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
低酸素センサーを標的とした2型糖尿病治療法の探索と展開	南嶋洋司	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
特異性/遺伝性肺動脈性肺高血圧症の疾患特異的iPS細胞の樹立および解析	楠本大	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インターロイキン32の炎症性関節炎における役割と治療標的分子としての可能性	二木康夫	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸管マクロファージの免疫恒常性維持への寄与とクローン病におけるその破綻機序の解明	日比紀文	医学部臨床教室	8,840,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝内免疫細胞を標的とした糖尿病、メタボリックシンドローム治療法の開発	入江潤一郎	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
単一葉系幹細胞の分裂機能制御と老化機構の解明	馬淵洋	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌発癌モデルを用いた血管新生の依存度に応じた新規治療戦略の確立	秋原正幸	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膠原病合併肺動脈性肺高血圧症における血管内皮前駆細胞の役割の解明	白井悠一郎	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胃粘膜下腫瘍切除検体を用いた初代細胞の樹立と薬剤耐性機序の解明	迫裕之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
臨床応用を目指したブタ間葉系幹細胞移植による新しいSIRS制御戦略	八木洋	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ブタ脱細胞化技術と幹細胞の融合により三次元胆管・血管構造を有す新規移植臓器の開発	八木洋	医学部臨床教室	9,490,000 円	補 ○ 文部科学省 委
重症ドライアイの眼表面の評価	番裕美子	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
角膜輪部上皮のニッシェにおけるエヌカドヘリンの役割	比嘉一成	医学部	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胎内プログラミングによる腎発育異常におけるmTOR経路の役割	飛弾麻里子	医学部	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
末梢動脈疾患に対するステント内再狭窄予防のための低侵襲温度制御温熱治療の開発	尾原秀明	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生命始動と分化全能性獲得の遺伝子カスケード	浜谷敏生	医学部臨床教室	5,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
microRNAを指標とした肺癌診断マーカーの開発及び発癌メカニズムの解明	浜本純子	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス局所脳虚血モデルへの神経堤由来細胞移植の効果の検討	富田裕	医学部寄附講座	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域在住高齢者の視覚障害予防: 追跡研究による死亡及び介護状態との関連	武林亨	医学部基礎教室	5,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
染色体転座スクリーニングによる非小細胞肺癌における新規標的分子の同定	副島研造	医学部臨床教室	1,580,000 円	補 ○ 文部科学省 委
霊長類同種移植モデルによる心臓再生治療効果の確認	服部文幸	医学部	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺線維症における抗炎症性脂質メディエーターの有用性とその役割	福永興彦	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
卵子の加齢メカニズムの解明～生殖補助医療の向上を目指して～	福永朝子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨組織におけるRNAヘリカーゼp68の機能解明	福田亨	医学部臨床教室	8,450,000 円	補 ○ 文部科学省 委
疾患モデル動物を用いた病態解明と革新的治療法の開発	福田恵一	医学部臨床教室	19,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心不全における交感神経機能の可塑性に関する研究	福田恵一	医学部臨床教室	13,260,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢黄斑変性におけるAngptl2の関与	平沢学	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ピロリ菌感染時における十二指腸上皮細胞の鉄吸収異常と鉄毒性に関する検討	平田賢郎	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高感度大腸癌腫瘍マーカーの開発	平田玲	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌の免疫抑制分子の同定と発現解析	平尾薫丸	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
敗血症における(プロ)レニン受容体ブロッカーの有効性に関する基礎的検討	平野佑樹	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管内皮前駆細胞が分泌する神経幹細胞の自己複製促進因子	並木淳	医学部臨床教室	5,460,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生体侵襲制御と組織修復・再生における骨髄由来細胞の機能解析	並木淳	医学部臨床教室	5,460,000 円	補 ○ 文部科学省 委
発癌の機序における線維芽細胞増殖因子の役割と新たな分子標的治療への戦略	別役智子	医学部臨床教室	8,190,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌における間質-腫瘍相互作用の臨床的意義の解明と新規分子標的の探索	片岡史夫	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
妊娠恒常性維持機構における羊膜マトリクス細胞蛋白の役割	峰岸一宏	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
バイオイメージングを用いた癌細胞由来ADAM28の生体内機能解析	望月早月	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新しい質量分析イメージング法を用いた消化器癌リンパ節転移最初期に生じる現象の解明	北川雄光	医学部臨床教室	6,370,000 円	補 ○ 文部科学省 委
G-CSFの幹細胞血液中動員作用による慢性肺疾患治療の為の基礎的検討	北東功	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
最適化された細胞外環境を用いた心筋細胞移植法の確立	牧野伸司	医学部総合医科学研究センター	5,070,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TACEの骨代謝・造血系における機能解析	堀内圭輔	医学部総合医科学研究センター	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性腫瘍における酸素代謝の解析と腫瘍酸素加による治療効果増強機構の解明	堀之内宏久	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES・iPS内皮細胞誘導技術を用いた新規CKD病態メカニズムの解明	本間康一郎	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Reelin-Dab1シグナルによる樹状突起の形成とガイダンス機構の解明	本田岳夫	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
In vivoヒト代謝システム生物学拠点	末松誠	医学部基礎教室	205,624,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発」 (系統的分子探索に立脚した細胞シミュレーション開発による 臓器代謝モデル構築)	末松誠	医学部基礎教室	24,910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脊髄損傷における自己修復機構の解明ー内在性シュワン細胞 の寄与ー	名越慈人	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生体内反応で発生する代謝活性ラジカルを利用した低酸素細胞 増感剤の開発と臨床応用	茂松直之	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大腸癌細胞膜表面EGFR検出によるCetuximab感受性予測 法の開発	茂田浩平	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新たなリンパ球ナチュラルヘルパー細胞の寄生虫排除機構 における役割	茂呂和世	医学部基礎教室	10,530,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ナチュラルヘルパー細胞の分化機構の解明	茂呂和世	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ダイオキシン受容体とその関連因子による自然免疫応答およ びTh17分化の制御	木村彰宏	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
軟骨細胞の遊走能に着目したヒト変形性関節症の病態解析	木村徳宏	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新しい内視鏡の応用・心臓内視鏡を用いた心不全治療の開発 と最適化	木村雄弘	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿管管再生機構の解明とES細胞、iPS細胞から尿管管細胞 への分化誘導の試み	門川俊明	医学部医学教育統轄セ ンター	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
実質組織内の微量癌細胞の検出のための末梢血循環腫瘍細胞 検出システムの実用	野守裕明	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一塩基多型解析による子宮体癌幹細胞の個性診断	野村弘行	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
患者・家族を対象とした精神看護介入のニーズ分析とプロト コール開発	野末聖香	看護医療学部	4,810,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自宅で経口化学療法を続ける患者の服薬の実態解明と安全、 確実な服薬支援モデル開発	矢ヶ崎香	看護医療学部	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
siRNAを利用した子宮体癌治療と分子イメージングによるその 効果判定	矢野倉恵	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂肪誘導機能付加生体材料による組織欠損補填療法の開発	矢澤真樹	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
真菌成分によるTh2型自然免疫応答と遷延性気道炎症の病 態解明	友松克允	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素性虚血性脳症における神経細胞の樹状突起に発現する 電位依存性チャネルの制御	有光威志	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌の再発・転移における乳癌幹細胞および上皮間葉転換(E MT)シグナルの解析	有馬好美	医学部附属先端医科学 研究所	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シナプス可塑性を支える新しいAMPA受容体輸送制御機構の 解明	柚崎通介	医学部基礎教室	10,140,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小脳をモデルとした糖鎖シグナルによる機能的・形態的シナ プス可塑性制御	柚崎通介	医学部基礎教室	24,180,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
顕微質量分析法による代謝物分布情報に基づく腫瘍不均一性の検証	涌井昌俊	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮成長因子受容体阻害剤耐性肺癌におけるPI3キナーゼ経路を中心とした耐性克服	猶木克彦	医学部クラスター部門	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
プリオンタンパクの小包輸送に関与するRAB11およびSGSMファミリーの機能解析	楊浩	先端研究センター	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外科侵襲下における褐色脂肪細胞分化機構の解明と代謝亢進状態改善の試み	葉季久雄	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「日本の長を活かしたBMIの統合的研究開発」(ブレイン・マシン・インターフェースの臨床応用を目指した医工連携プロジェクト「機能代償システム」から「治療システム」へ)	里宇明元	医学部臨床教室	48,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
時間・代謝制御に基づく腎臓病および高血圧の治療戦略	林晃一	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
系球体上皮細胞における転写因子KLF4の役割の検討および蛋白尿治療への応用	林香	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性腎臓病の血管石灰化発症機序における転写調節因子の役割の解明と治療への応用	林松彦	医学部クラスター部門	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌個別化治療を目指したHOXB9によるEMT誘導とDNA修復メカニズムの解明	林田哲	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小児急性骨髄性白血病におけるMLL遺伝子縦列部分重複の機能解析と分子標的治療	林睦	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アパタイトナノキャリアを用いた胃癌のマイクロRNA治療の開発	鈴木秀和	医学部臨床教室	4,810,000 円	補 ○ 文部科学省 委
横紋筋細胞を用いた免疫沈降法による自己抗体検索の臨床応用に向けて	鈴木重明	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
婦人科癌転移の糖鎖機能解析と認識糖鎖抗原に対する新規ヒトモノクローナル抗体の開発	鈴木淳	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
片頭痛前兆大脳皮質拡張性抑制が神経障害性疼痛を惹起する脳可塑性と疼痛制御系の解明	鈴木則宏	医学部臨床教室	3,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
再生不良性貧血動物に対する間葉系幹細胞移植治療モデルの確立	鈴木禎史	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢黄斑変性に対する光線力学的療法(PDT)の眼組織変化の分子メカニズムの解析	鈴木美砂	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
鼓膜全面の振動解析法確立に向けたレーザードップラープローブの開発	和佐野浩一郎	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胃癌における上皮間葉移行(EMT)の解析による治療応用	和田則仁	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
女性慢性筋性顎関節症患者における中枢性筋収縮抑制不全と下行抑制系機能不全の検証	和嶋浩一	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂肪細胞肥大化に伴う伸展刺激とRho/Rhoキナーゼ経路の肥満発症における意義	脇野修	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腹膜障害の診断、治療戦略としてのiPS細胞由来腹膜中皮細胞の分化誘導法の樹立	鷲田直輝	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス大脳皮質形成において皮質深部で発現するリーリン蛋白質の機能解析	廣田ゆき	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
臓器移植におけるB細胞制御による免疫寛容の誘導	淵本康史	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
種々の生体適合性ゲル化物質を足場材料に用いたマウス肺組織移植モデル	澤藤誠	医学部	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
疾患特異的マイクロRNAを治療標的とした頭頸部癌の新規治療戦略	齋藤康一郎	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮間葉転換および幹細胞関連分子発現プロファイルに基づく口腔扁平上皮癌の新分類	筋生田整治	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌の分子標的治療薬・放射線併用療法の基礎的研究	關智史	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
指定寄附	関谷高史	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 法) 先進医薬研究振興財団 委
指定寄附	森田林平	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 法) 先進医薬研究振興財団 委
神経血管誘導因子Sema3Cの発現制御による心臓流出路発生機構の解明	古道一樹	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 木村記念循環器財団 委
指定寄附	松木絵里	医学部総合医科学研究センター	2,000,000 円	補 ○ 臨床薬理研究振興財団 委
細胞特異的 siRNA送達システムを用いた新規抗インフルエンザワクチンの開発	藤猪英樹	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 鈴木謙三記念 財団法人 医学科学応用研究財団 委

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

### 【論文発表等の実績】

雑誌名	巻号	頁	発行年	題名	発表者氏名	所属部門
Commun. Integr. Biol.	4	3	2011	N-Cadherin regulates radial glial fiber-dependent migration of cortical locomoting neurons.	仲嶋一範 他	解剖学
		326-330				
実験医学	29	1	2011	DISC1 研究の期待と課題 -精神疾患研究のマイルストーンの1つとして	仲嶋一範 他	解剖学
		94-102				
Natl. Acad. Sci. U.S.A., in press.	108	19	2011	Changes in cortical interneuron migration contribute to the evolution of the neocortex.	仲嶋一範 他	解剖学
		8015-8020				
Nature	473	7345	2011	DISC1-dependent switch from progenitor proliferation to migration in the developing cortex.	仲嶋一範 他	解剖学
		92-96				
Cereb. Cortex	21	8	2011	Laminar and areal expression of Unc5d and its role in cortical cell survival.	仲嶋一範 他	解剖学
		1925-1934				
Neurochem. Res., in press.			2011	Regulation of cortical neuron migration by the Reelin signaling pathway.	仲嶋一範 他	解剖学
J. Neurosci.	31	40	2011	GABAergic precursor transplantation into the prefrontal cortex prevents phencyclidine-induced cognitive deficits.	仲嶋一範 他	解剖学
		14116-14125				
J. Neurosci., in press.	31	25	2011	The outermost region of the developing cortical plate is crucial for both the switch of the radial migration mode and the Dab1-dependent "inside-out" lamination in the neocortex.	仲嶋一範 他	解剖学
J. Comp. Neurol.	519	10	2011	Reelin inhibits migration of sympathetic preganglionic neurons in the spinal cord of the chick.	仲嶋一範 他	解剖学
		1970-1978				
PLoS ONE, in press.	6	4	2011	PDK1-Foxo1 in Agouti-related peptide neurons regulates energy homeostasis by modulating food intake and energy expenditure.	仲嶋一範 他	解剖学
		18324				
J. Comp. Neurol.	519	4	2011	Cellular composition and organization of the subventricular zone and rostral migratory stream in the adult and neonatal common marmoset brain	仲嶋一範 他	解剖学
		690-713				
Hum. Mol. Genet., in press.	20	14	2011	Disrupted-in-Schizophrenia-1 (Disc1) is necessary for migration of the pyramidal neurons during mouse hippocampal development.	仲嶋一範 他	解剖学
		2834-2845				
Biomaterials, in press.	32	25	2011	Basement membrane-like matrix sponge for the three-dimensional proliferation culture of differentiated retinal horizontal interneurons.	仲嶋一範 他	解剖学
		5765-5772				
J. Neurosci.	31	45	2011	Segregation and pathfinding of callosal axons through EphA3 signaling.	仲嶋一範 他	解剖学
		16251-16260				
Neurochem. Res.	36	7	2011	Regulation of cortical neuron migration by the Reelin signaling pathway.	仲嶋一範 他	解剖学

1270-1279				
Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol. 31 3 2011 582-589	Neural crest-derived stem cells migrate and differentiate into cardiomyocytes after myocardial infarction.	仲嶋一範	他	解剖学
Nature Neuroscience 14 5 2011 608-611	D-serine regulates cerebellar LTD and motor coordination through the $\delta 2$ glutamate receptor.	掛川渉		生理学
Neurochemical Research 36 7 2011 1314-1322	A new rapid protocol for eyeblink conditioning to assess cerebellar motor learning.	掛川渉	他	生理学
Neuron 73 1 2012 135-148	NMDA receptor-mediated PIP5K activation to produce PI(4,5)P2 is essential for AMPA receptor endocytosis during LTD.	掛川渉	他	生理学
European Journal of Neuroscience 35 3 2012 402-410	Cerebellar long-term depression requires dephosphorylation of TARP in Purkinje cells.	掛川渉	他	生理学
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America 108 33 2011 13379-13386	Loss of the retinoblastoma binding protein 2 (RBP2) histone demethylase suppresses tumorigenesis in mice lacking Rb1 or Men1.	南嶋洋司	他	医化学
細胞工学 30 8 2011 790-795	基礎の基礎。「次世代シーケンサーを使いこなす」	清水厚志		分子生物学
総合臨床 60 10 2011 2047-2052	血漿ホモシステイン高値、関連ビタミン群と動脈硬化性疾患の関連	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
Medicina 48 7 2011 1254-1266	脳卒中予防のイノベーション-早期発見・早期受診・早期介入。	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
Medical Practice 28 9 2011 1506-1512	虚血性心疾患の最近の疫学的動向からみた実地診療のすすめかた。	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
治療 93 4 2011 608-611	禁煙専門医の立場から-リスクとしての喫煙、治療としての禁煙。	岡村智教		衛生学公衆衛生学
Preventive Medicine 52 1 2011 60-65	Population attributable numbers and fractions of deaths due to smoking: a pooled analysis of 180,000 Japanese.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
The Lipid 22 1 2011 14-19	NIPPON DATA80-リスク評価チャートの評価。	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
Atherosclerosis 215 1 2011 209-213	Relationship of moderate metabolic risk factor clustering to cardiovascular disease mortality in non-lean Japanese: A 15-year follow-up of NIPPON DATA90.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
Heart View 15 9 2011 915-920	脂質異常症と動脈硬化の疫学的エビデンスは？	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
レジデント 4 8 2011	粥状動脈硬化症の発症における脂質異常症の関与-疫学的側面から。	岡村智教		衛生学公衆衛生学



6-16					
Stroke					
42	9	2011	Differential Association of Docosahexaenoic and Eicosapentaenoic Acids With Carotid Intima-Media Thickness.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	2538-2543				
J Atheroscler Thromb					
18	6	2011	Residual lifetime risk of cardiovascular diseases in Japan.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	443-447				
日本臨床					
69	増刊号 7. 冠動脈疾患動脈 (上巻)	2011	心血管病の危険因子としての喫煙	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	599-603				
循環器内科					
70	6	2011	アルコール摂取と循環器疾患-わが国の疫学調査結果より-	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	597-601				
Hum Mol Genet					
20	11	2011	Association of genetic variation with systolic and diastolic blood pressure among African Americans: the Candidate Gene Association Resource study	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	2273-84				
Diabetol Metab Syndr					
8		2011	Relationship between Dietary and Other Lifestyle Habits and Cardiometabolic Risk Factors in Men.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	30				
循環器内科					
70	2	2011	ホモシステインの動脈硬化リスクについての pros and cons.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	202-209				
Nature					
478		2011	Genetic variants in novel pathways influence blood pressure and cardiovascular disease risk.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	103-109				
Atherosclerosis					
216	2	2011	Serum 1,5-anhydro-d-glucitol levels predict first-ever cardiovascular disease: An 11-year population-based Cohort study in Japan, the Suita study.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	477-483.				
Am J Cardiol					
107	12	2011	Prognostic Value of ST-T Abnormalities and Left High R Waves With Cardiovascular Mortality in Japanese (24-Year Follow-Up of NIPPON DATA80).	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	1718-1724				
J Aging Res					
		2011	Impairments in activities of daily living in older Japanese men in hawaii and Japan.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	324592				
Heart View (11月増刊号)					
15	12	2011	虚血性心疾患の一次予防: 心臓を護るためになすべきこと.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	216-220.				
臨床と研究					
88	10	2011	脂質異常症と動脈硬化性疾患 (世界と日本の違い)	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	1229-1234				
動脈硬化予防					
10	2	2011	わが国の心筋梗塞年齢調整死亡率はなぜ低下したか: NIPPON DATA からみた心筋梗塞危険因子からの考察.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	22-27				
Stroke					
42	6	2011	Association with serum gamma-glutamyltransferase levels and alcohol consumption on stroke and coronary artery disease: the suita study.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学
	1764-1767				
J Atheroscler Thromb					
18	4	2011	Fasting Plasma Insulin is Associated with Metabolic Syndrome in Farmers but not in Nomads among the Mongolian Population, China.	岡村智教	他 衛生学公衆衛生学

291-297				
Hypertens Res 34 6 2011 740-746	Association of intima-media thickening of carotid artery with genetic polymorphisms of the regulator of G-protein signaling 2 gene in patients with hypertension and in the general population.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
Diabetes Metab Syndr Obes 4 2011 119-125	Relationship between sleep duration and clustering of metabolic syndrome diagnostic components.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
Atherosclerosis 217 1 2011 201-206	A revised definition of the metabolic syndrome predicts coronary artery disease and ischemic stroke after adjusting for low density lipoprotein cholesterol in a 13-year cohort study of Japanese: The Suita Study.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
日本医師会雑誌 140 6 2011 1208-1212	動脈硬化性疾患の絶対リスクの評価.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
Leukemia Resarch 35 5 2011 585-590	Seven-year follow-up of patients receiving imatinib for the treatment of newly diagnosed chronic myelogenous leukemia by the TARGET system.	西田浩子	他	病理学
Biochemical Biophysical Research Communinations 409 1 2011 14-21	Regulation of cancer stem cell properties by CD9 in human B-acute lymphoblastic leukemia	西田浩子		病理学
Heart Vessels 2011	Atypical giant cell arteritis predominantly involving intramural coronary arteries: a case showing refractory dialysis-related hypotension.	木村徳宏	他	病理学
Brain Tumor Pathol 28 3 2011 273-277	Extraaxial neurocytoma in the skull base.	木村徳宏	他	病理学
Neurological Sciences 33 2 2011 408-407	Primary B-cell lymphoma of the cauda equina, successfully treated with high-dose methotrexate plus high-dose cytarabine;a case report with MRI findings.	西田浩子	他	病理学
Arthritis Rheum 63 10 2011 3000-3009	Semaphorin 3A is expressed in human osteoarthritic cartilage and antagonizes vascular endothelial growth factor 165-promoted chondrocyte migration: An implication for chondrocyte cloning.	木村徳宏	他	病理学
J Exp Med 208 11 2011 2175-2181	Osteoclasts are dispensable for hematopoietic stem cell maintenance and mobilization.	木村徳宏	他	病理学
Blood 118 26 2011 6939-6942	Dual functions of cell-autonomous and non-cell-autonomous ADAM10 activity in granulopoiesis.	木村徳宏	他	病理学
安全医学 7 1 2011 43	総括医療安全管理における新人教育	藤田眞幸		法医学
Forensic Sci Int 207 2011 6-13	Pokkuri Death Syndrome; Sudden Cardiac Death Cases without Coronary Atherosclerosis in South Asian Young Males.	藤田眞幸	他	法医学
Clin Chim Acta 412 2011 71-78	Measurement of serum remnant-like lipoprotein particle-triglyceride (RLP-TG) and RLP-TG/ total TG ratio using highly sensitive triglyceride assay reagent.	藤田眞幸	他	法医学
Blood Coagulation Fibrinolysis 2011	A novel factor XII mutation, FXII R34P, causing factor XII deficiency in a patient with hereditary spastic paraplegia.	宮川義隆	他	内科学 (血液)

Experimental Hemaotology	2011	Humanized VB22B minibody for human Mpl stimulates human megakaryopoiesis but does not enhance platelet aggregation.	宮川義隆	他	内科学 (血液)
Journal of Craniofacial Surgery	22 4 2011 1348-1350	A Pitfall of Decompression for Severe Exophthalmos: Role of the Posterior Wall of the Maxillary Sinus (Part 1)	坂本好昭		形成外科学
Journal of Plastic Reconstructive and Aesthetic Surgery	64 3 2011 82e-83e	The "crossbeam technique": a technique for taking bone grafts from the ilium	坂本好昭		形成外科学
Journal of Craniofacial Surgery	22 4 2011 1240-1246	Dynamic total skull remodeling by a combination of morcellation craniotomy with distraction osteogenesis; the MoD procedure.	坂本好昭		形成外科学
Journal of Craniofacial Surgery	22 4 2011 1351-1353	A Pitfall of Reconstruction for Severe Enophthalmos: Role of the Posterior Wall of the Maxillary Sinus (Part 2)	坂本好昭		形成外科学
日本小児科学会雑誌	115 4 2011 823- 827	情報通信技術を活用した大学病院・地域中核病院間連携小児科研修	三橋隆行	他	小児科学
周産期医学 2011 年増刊号 周産期医学必修知識 第7版	41 2011 647-649	脳の形態異常	三橋隆行	他	小児科学
Am J Med Genet	in press 2011	Heterozygous C-propeptide mutations in COL1A1: Osteogenesis imperfect type IIC and dense bone variant.	長谷川奉延	他	小児科学
Pediatr International	in press 2011	Syndrome of inappropriate anti-diuretic hormone in Kawasaki disease.	長谷川奉延	他	小児科学
J Clin Endocrinol Metab	in press 2011	Nonclassic TSH resistance: TSHR mutation carriers with discrepantly high thyroidal iodine uptake.	長谷川奉延	他	小児科学
医学教育	42 5 2011 283-287	Medical professionalism 教育の一環としての白衣式における誓いの言葉プロジェクト	長谷川奉延	他	小児科学
J Inherit Metab Dis	in press 2011	A neonatal onset succinyl-CoA:3-ketoacid CoA transferase (SCOT)-deficient patient with T435N and c.658-666dupAACGTGATT p.N220_I222dup mutations in the OXCT1 gene.	長谷川奉延	他	小児科学
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌	27 1 2011 247-250	腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に5mmトロッカー挿入部より大網が脱出した1例	野村弘行	他	産婦人科学
Journal of Cancer Therapy	2 4 2011 458-462	Atypical Polypoid Adenomyoma (APAM) of the Uterine: Relationship with Endometrial Cancer	野村弘行	他	産婦人科学
Int J Oncol	39 5 2011 1057-1062	Narrow band imaging hysteroscopy: a comparative study using randomized video images	野村弘行	他	産婦人科学
Mol Biol Int	2011	Relationship between DNA Mismatch Repair Deficiency and Endometrial Cancer	平沢晃	他	産婦人科学

東京産科婦人科学会誌					
60	4	2011	若年卵巣胚細胞腫瘍に対する術後化学療法による卵巣機能障害についての検討	野村弘行	他 産婦人科学
	539-542				
Journal of Cancer Therapy					
2	5	2011	Epigenetic Aberrant Hypermethylation of DNA in Endometrial Cancer: Application as a Biomarker	野村弘行	他 産婦人科学
	610-615				
Curr Genomics					
12	1	2011	Carcinoma of the Lower Uterine Segment (LUS): Clinicopathological Characteristics and Association with Lynch Syndrome.	平沢晃	他 産婦人科学
	25-29				
Int J Oncol					
39	5	2011	Narrow band imaging hysteroscopy: A comparative study using randomized video images.	平沢晃	他 産婦人科学
	1057-1062				
Cancer Res					
71	20	2011	miR-152 is a tumor suppressor microRNA that is silenced by DNA hypermethylation in endometrial cancer.	平沢晃	他 産婦人科学
	6450-6462				
Trends in Cancer Research					
7		2011	MicroRNA in endometrial cancer	平沢晃	他 産婦人科学
	49-55				
日本産科婦人科学会東京地方部会会誌					
60	2	2011	家系内の遺伝子検査が契機となり早期介入に至ったリンチ症候群の1例.	平沢晃	産婦人科学
	293-297				
Osteoporosis Japan					
19	3	2011	大腿骨頸部骨密度測定は腰椎骨密度測定の代用となり得るか? -当科健康維持外来受診者からの比較検討-	平沢晃	他 産婦人科学
	481-483				
Osteoporosis Japan					
18		2011	ホルモン補充療法が腰椎骨密度に及ぼす長期的な効果の検討 -当科健康維持外来における10年継続投与例からの検証-	平沢晃	産婦人科学
	83-85				
産婦人科漢方研究のあゆみ					
28		2011	Visual Analogue Scale (VAS) を用いた呉茱萸湯の片頭痛に対する治療効果の検討.	平沢晃	産婦人科学
	80-83				
日本女性医学学会雑誌					
19	1	2011	当科「健康維持外来」におけるホルモン補充療法施行症例についての検証.	平沢晃	産婦人科学
	18-23				
Int J Gynecol Cancer					
21	9	2011	Immunofluorescence-detected infiltration of CD4+FOXP3+ regulatory T cells is relevant to the prognosis of patients with endometrial cancer	平沢晃	他 産婦人科学
	1628-1634				
European Journal of Gynaecological Oncology					
32	2	2011	Expression of hypoxia-inducible 2 (HIG2) protein in uterine cancer	野村弘行	他 産婦人科学
	146-149				
European Journal of Gynaecological Oncology					
32	2	2011	The chemosensitivity of nodal metastases in recurrent epithelial ovarian cancer	野村弘行	他 産婦人科学
	160-163				
Human Pathology					
42	4	2011	Overexpression of cofilin1 can predict the progression free survival on epithelial ovarian cancer	野村弘行	他 産婦人科学
	516-521				
International Journal of Oncology					
38		2011	Flexible hysteroscopy with narrow band imaging (NBI) for endoscopic diagnosis of malignant endometrial lesions	野村弘行	他 産婦人科学

613-618					
Trends in Cancer Research					
7	2011	MicroRNA in endometrial cancer	野村弘行	他	産婦人科学
49-55					
International Journal of Gynecological Cancer					
22	2012	Role of Circulating Free Alu DNA in Endometrial Cancer	野村弘行	他	産婦人科学
1					
82-86					
Genes Chromosomes Cancer					
51	2012	EGR1 and FOSB gene expressions in cancer stroma are independent prognostic indicators for epithelial ovarian cancer receiving standard therapy	野村弘行	他	産婦人科学
3					
300-312					
Genes Chromosomes Cancer					
51	2012	Expression profiles of carcinosarcoma of the uterine corpus - are these similar to carcinoma or sarcoma?	野村弘行	他	産婦人科学
3					
229-239					
JSOG Newsletter					
8	2011	卵管鏡 胚移動の道を進る	末岡浩		産婦人科学 (産科)
産婦人科治療					
102	2011	着床前診断	末岡浩		産婦人科学 (産科)
4月増刊					
157(571)					
164(578)					
産婦人科の実際					
60	2011	特集 生殖医療の今日的革新 — ノーベル賞に輝いた体外受精の貢献と課題 — 着床前胚診断と胚スクリーニング	末岡浩		産婦人科学 (産科)
5					
691-697					
Clinical and Experimental Dermatology					
36	2011	A Japanese-specific recurrent mutation and a novel splice site mutation in the LAMC2 gene identified in two Japanese families with Herlitz junctional epidermolysis bullosa	末岡浩		産婦人科学 (産科)
4					
386-392					
産婦人科の実際					
60	2011	卵管鏡下卵管形成術-Falloposcopic tuboplasty (FT)-	末岡浩		産婦人科学 (産科)
7					
1009-1014					
産婦人科の実際					
60	2011	今日の話 単一遺伝子病の着床前診断の現状と問題点	末岡浩		産婦人科学 (産科)
8					
1201-1206					
日本受精着床学会雑誌					
28	2011	同腕染色体の性腺モザイクに対する正常核型妊娠の可能性と着床前診断の適応	末岡浩		産婦人科学 (産科)
2					
449-452					
日本受精着床学会雑誌					
28	2011	着床前遺伝子診断のための、GenomePlex 法による全ゲノム増幅法の増幅効率と精度の検討	末岡浩		産婦人科学 (産科)
2					
457-461					
産婦人科の実際 第60巻 別冊 必携 産婦人科ポケット手術マニュアル					
	2011	子宮奇形の手術	末岡浩		産婦人科学 (産科)
217-221					
産婦人科の実際 第60巻 別冊 必携 産婦人科ポケット手術マニュアル					
	2011	卵管鏡下手術 (卵管鏡下卵管形成術)	末岡浩		産婦人科学 (産科)
210-216					
産婦人科の実際					
60	2011	特集 産婦人科の遺伝医療と遺伝カウンセリング 着床前診断と遺伝カウンセリング	末岡浩		産婦人科学 (産科)
9					
1267-1275					

臨床婦人科産科	65	9	2011	今月の臨床 不妊診療の ABC-ART の前にできること 【不妊原因診断と ART の前の対処法】 卵管の異常	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				1127-1130			
小児科	52	12	2011	特集 小児医療における診断・治療の進歩 1 診断技術 着床前診断	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				1573-1581			
周産期医学必修知識第7版	41	増刊	2011	産科編 Part II 妊娠中 [検査] 20. 着床前診断 (遺伝子診断)	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				62-64			
日本受精着床学会雑誌	29	1	2012	着床前遺伝子診断の適応における問題点指摘症例の検討	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				159-163			
治療	98		2011	患者・家族の相談に応えるがん診療サポートガイド / 子宮頸がん かかりつけ医から専門医への質問 浸潤子宮頸がんに対して妊孕性を温存する手術があるのですか?	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				1115-1117			
Int. J. Clin. Oncol.			2011	Subsequent risks for cervical precancer and cancer in women with low-grade squamous intraepithelial lesions unconfirmed by colposcopy-directed biopsy: results from a multicenter, prospective, cohort study.	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
産婦人科手術	22		2011	機能温存手術 広汎性子宮頸部摘出術における neo-cervix 形成の工夫	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				101-105			
臨床婦人科産科	65	10	2011	子宮頸癌—予防と妊孕性温存のための治療戦略 / 妊孕性温存のための治療戦略 広汎子宮頸部摘出術後妊娠の妊娠・分娩の管理	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				1260-1265			
産婦人科治療	102	6	2011	子宮頸癌をめぐる最近の話題	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				903-906			
東京産科婦人科学会誌	60	2	2011	家系内の遺伝子検査が契機となり早期介入を行った Lynch 症候群の 1 例	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				293-297			
日本臨床細胞学会誌	50	1	2011	子宮頸がん検診におけるベセスダシステム 2001 導入に向けた取り組みと課題	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				1-5			
産婦人科の実際	60	2	2011	子宮頸癌に対する広汎性子宮頸部摘出術	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				155-160			
日本受精着床学会雑誌	28	2	2011	子宮頸部早期浸潤癌に対する radical abdominal trachelectomy 後の妊娠転帰	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				395-398			
産婦人科レビュー			2011	悪性腫瘍 妊孕性温存治療	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				110-114			
日本婦人科腫瘍学会雑誌	29	2	2011	トラケレクトミーの適応基準と疾病予後 当院における腹式広汎性子宮頸部摘出術の経験と工夫	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				233-237			
産科と婦人科	78	3	2011	子宮頸がんの治療と生殖医療の役割	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
				332-336			
Obstetric and Gynecologic Surgery Now				広汎性子宮頸部摘出術	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)

5		2011				
医療と臨床機器・試薬						
34	2	2011	HPV と子宮頸癌	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
	106-110					
日本婦人科腫瘍学会雑誌						
29	2	2011	子宮頸癌の発癌機構	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
	243-247					
組織細胞化学 2011						
		2011	免疫染色による治療方針決定への応用	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
	239-246					
日本産婦人科内視鏡学会誌						
27	1	2011	腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に 5mm トロッカー挿入部より大網が脱出した 1 例	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
	247-250					
European Radiology						
21	9	2011	Commarision of T2-weighted and contrast-enhanced T1-weighed MR imaging at 1.5 T for assessing the local extent of cervical carcinoma	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
	1850-1857					
Eye						
73	7	2011	Donor-recipient gender difference affects severity of dry eye after hematopoietic stem cell transplantation.	小川葉子	他	眼科学
	860-865					
Arthritis Res Ther						
13		2011	Regulatory mechanisms for the production of BAFF and IL-6 are impaired in monocytes of patients of primary Sjogren's syndrome	小川葉子	他	眼科学
	R170					
Mol Vis.						
17	2	2011	Morphologic evaluation of meibomian glands in chronic graft-versus-host disease using in vivo laser confocal microscopy.	小川葉子	他	眼科学
	2533-2543					
Frontiers in dry eye						
6	2	2011	ドライアイリサーチアワード 受賞論文 ヒト眼慢性移植片対宿主病における上皮間葉転換	小川葉子		眼科学
	64-69					
Am J Ophthalmol.						
151		2011	Surgical punctal occlusion with a high heat-energy releasing cautery device for severe dry eye with recurrent punctal plug extrusion.	小川葉子	他	眼科学
	483-487.					
Int J Hematol						
94		2011	Prevention of cytarabine-induced kerato-conjunctivitis by eye rinse in patients receiving high-dose cytarabine and total body irradiation as a conditioning for hematopoietic stem cell transplantation.	小川葉子	他	眼科学
	261-265					
Free Radic Biol Med						
51		2011	Corneal damage and lacrimal gland dysfunction in a smoking rat model.	小川葉子	他	眼科学
	2210-2216					
PLoS One						
6		2011	Generation of stratified squamous epithelial progenitor cells from mouse induced pluripotent stem cells. 6	小川葉子	他	眼科学
	e28856					
Mol Vis						
17		2011	Comparison of telomere length and association with progenitor cell markers in lacrimal gland between Sjogren syndrome and non-Sjogren syndrome dry eye patients.	小川葉子	他	眼科学
	1397-1404					
Bone Marrow Transplant.						
47	3	2011	Mucosal Microvilli in Dry Eye Patients with Chronic Graft-Versus-Host Disease. Bone Marrow Transplant. in press (*Corresponding author)	小川葉子	他	眼科学
	416-425.					
Br J Ophthalmol						
96	1	2012	Comparison of stem cell sources in the severity of dry eye after allogeneic haematopoietic stem cell transplantation	小川葉子	他	眼科学

34-37					
リウマチ科					
47 3	2012	リウマチ性疾患に伴う眼症状とその鑑別	小川葉子	他	眼科学
243-250					
精神神経学雑誌					
113 4	2011	地域生活における「幸齢化」をめざして	新村秀人	他	精神・神経科学
380-386					
社会精神医学会雑誌					
20 2	2011	社会精神医学研究ワークショップ体験記	新村秀人		精神・神経科学
161-162					
Psychiatry and Clinical Neurosciences					
65 5	2011	Successful aging in individuals with schizophrenia dwelling in the community: study on attitudes toward aging and preparing behavior for old age.	新村秀人	他	精神・神経科学
459-467					
精神科治療学					
26 10	2011	一般救急場面における高次脳機能障害の評価と対応：特集—一般救急における精神科医の役割	加藤隆		精神・神経科学
1211-1216					
PLoS One					
6 11	2011	Magnetoencephalography study of right parietal lobe dysfunction of the evoked mirror neuron system in antipsychotic-free schizophrenia	加藤隆		精神・神経科学
e28087					
精神科治療学					
26	2011	Risperidone から quetiapine への切り替え後に認知機能検査の成績改善がみとめられた統合失調症の一例	前田貴記		精神・神経科学
99-104					
MARTA					
9 1	2011	統合失調症の思考と言語—抽象と具象の混淆	前田貴記		精神・神経科学
14-17					
Current Psychiatry Reports (in press)					
	2011	A Tipping Point in Drug Dosing in Late-Life	内田裕之	他	精神・神経科学
Am J Geriatr Psychiatry (in press)					
	2011	Age effects on clozapine clearance: age impacts clozapine exposure in inpatients and outpatients with schizophrenia	内田裕之	他	精神・神経科学
Int J Geriatr Psychiatry (in press)					
	2011	Effects of aging on 5-HT <sub>2A</sub> R binding: a HRRT PET study with and without partial volume corrections	内田裕之	他	精神・神経科学
J Clin Psychopharm					
31	2011	Clinical and demographic characteristics associated with postural instability in patients with schizophrenia	内田裕之	他	精神・神経科学
16-21					
J Psychiatr Res (in press)					
	2011	How long to wait before reducing antipsychotic dosage in stabilized patients with schizophrenia? A retrospective chart review	内田裕之	他	精神・神経科学
Psychiatry Clin Neurosci (in press)					
	2011	Pisa syndrome caused by an acetylcholinesterase inhibitor in a patient with dementia with Lewy bodies: a case report	内田裕之	他	精神・神経科学
J Clin Psychopharm					
31	2011	Balancing potential risks and benefits of adjunctive use of aripiprazole with risperidone for the treatment of schizophrenia: Reply to Dr. Deng	内田裕之	他	精神・神経科学
136-137					
Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci (in press)					
	2011	Patients' attitudes toward side effects of antidepressants: An Internet survey	内田裕之	他	精神・神経科学



医学のあゆみ	2011	統合失調症の維持期におけるより安全な抗精神病薬治療	内田裕之				精神・神経科学
臨床精神医学 40 6 803-811	2011	意識(主観的体験)と統合失調症の進化史	高畑圭輔	他			精神・神経科学
Cognition and Dementia 11 1 42-46	2012	高次脳機能障害の薬物療法	加藤隆				精神・神経科学
Journal of Oral Biosciences 54 1 11-14	2012	Disturbance of social interaction in patients with psychosis - A review of the role of malfunction of the mirror neuron system.	加藤隆				精神・神経科学
The Keio Journal of Medicine 2012		Mental Health and Psychosocial Support After the Great East Japan Earthquake	加藤隆				精神・神経科学
Int J Radiat Oncol Biol Phys 81 3 e127-33	2011	Dose Constraint for Minimizing Grade 2+ Rectal Bleeding following Brachytherapy combined with External Beam Radiotherapy for Localized Prostate Cancer: Rectal Dose-Volume Histogram Analysis of 457 Patients.	大橋俊夫	他			放射線科学 (治療)
Radiother Oncol 101 2 255-259	2011	Stereotactic body radiotherapy (SBRT) for oligometastatic lung tumors from colorectal cancer and other primary cancers in comparison with primary lung cancer	大橋俊夫	他			放射線科学 (治療)
Neuroimage 54 4 307414	2011	Population-averaged standard template brain atlas for the common marmoset ( <i>Callithrix jacchus</i> ).	百島祐貴	他			放射線科学 (診断)
J Neurophysiol 105	2011	Between-subject variance in the magnitude of corticomuscular coherence during tonic isometric contraction of the tibialis anterior muscle in healthy young adults.	牛山潤一	他			リハビリテーション医学
J Appl Physiol 110 1233-1240	2011	Muscle fatigue-induced enhancement of the corticomuscular coherence following sustained submaximal isometric contraction of the tibialis anterior muscle.	牛山潤一	他			リハビリテーション医学
Med Sci Sports Exerc 43 in press	2011	Relation between postural stability and plantar flexors muscle volume in young males.	牛山潤一	他			リハビリテーション医学
Nat Rev Clin Oncol 8 7 387-388	2011	How can we address cancer care after a natural disaster?	今村知世	他			臨床薬剤学
がん分子標的治療 9 3 171-175	2011	欧米における早期探索的臨床試験のガイドライン	今村知世	他			臨床薬剤学
Proteome Science 2011		S100A10 protein expression is associated with oxaliplatin sensitivity in human colorectal cancer cells	谷川原祐介	他			臨床薬剤学
Anticancer Res 31 12 4561-4568	2011	Prospective study evaluating the plasma concentrations of twenty-six cytokines and response to morphine treatment in cancer patients	今村知世	他			臨床薬剤学
J Infect Chemother DOI	2011	Optimal treatment schedule of meropenem for adult patients with febrile neutropenia based on pharmacokinetic-pharmacodynamic analysis	谷川原祐介	他			臨床薬剤学

10.1007/s10156-011-0271-9					
日本化学療法学会雑誌					
59	S-1 55-63	2011	Levofloxacin 注射剤の母集団薬物動態/薬力学解析	谷川原祐介	他 臨床薬理学
Oncology Reports		2011	Expression changes in arrestin $\beta$ 1 and genetic variation in catechol-O-methyltransferase are biomarkers for the response to morphine treatment in cancer patients	谷川原祐介	他 臨床薬理学
Bone					
49	(4) 605-612	2011	A new active vitamin D3 analog, eldecacitol, prevents the risk of osteoporotic fractures--a randomized, active comparator, double-blind study	谷川原祐介	他 臨床薬理学
Breast Cancer Res Treat					
131	1 137-145	2012	Dose-adjustment study of tamoxifen based on CYP2D6 genotypes in Japanese breast cancer patients.	今村知世	他 臨床薬理学
Cancer Chemother Pharmacol					
69		2012	Phase I trial of the combination of flavopiridol and imatinib mesylate in patients with Bcr-Abl(+) hematological malignancies.	今村知世	他 臨床薬理学
臨床消化器内科					
26	7 1024^1029	2011	【消化管感染症の現況-最近の知見、診断のポイント】 寄生虫による消化管障害 赤痢アメーバ	三上修治	他 病理診断部
肝臓					
52	5 280-286	2011	胆管内発育型細小肝細胞癌 最近の切除症例 28 例の臨床病理学的予後規定因子の検討	三上修治	他 病理診断部
Jpn J Clin Oncol.					
41	3 424-429	2011	The clinical impact of the classification of carcinoma in situ on tumor recurrence and their clinical course in patients with bladder tumor.	三上修治	他 病理診断部
J Urol					
185	5 1621-1626	2011	Preoperative hydronephrosis grade independently predicts worse pathological outcomes in patients undergoing nephroureterectomy for upper tract urothelial carcinoma.	三上修治	他 病理診断部
Int J Cancer					
		2011	Loss of p16 expression is associated with the stem cell characteristics of surface markers and therapeutic resistance in estrogen receptor-negative breast cancer.	三上修治	他 病理診断部
Ann Diagn Pathol.					
15	4 282-285	2011	Clear cell papillary renal cell carcinoma and clear cell renal cell carcinoma arising in acquired cystic disease of the kidney: an immunohistochemical and genetic study.	三上修治	他 病理診断部
Diagn Pathol.					
26	6 80	2011	Review of juxtaglomerular cell tumor with focus on pathobiological aspect.	三上修治	他 病理診断部
Laboratory Investigation					
		2011	Expression of Snail and Slug in renal cell carcinoma: E-cadherin repressor Snail is associated with cancer invasion and prognosis.	三上修治	他 病理診断部
Eur Radiol					
21	9 1850-1857	2011	Comparison of T2-weighted and contrast-enhanced T1-weighted MR imaging at 1.5 T for assessing the local extent of cervical carcinoma.	三上修治	他 病理診断部
Int J Clin Oncol.					
		2011	Two cases of bowel perforation associated with sunitinib treatment for renal cell carcinoma.	三上修治	他 病理診断部
Histol Histopathol					
26	9 1215-1218	2011	Review of acquired cystic disease-associated renal cell carcinoma with focus on pathobiological aspects.	三上修治	他 病理診断部

J Magn Reson Imaging.	2011	Radiological findings of primary localized amyloidosis of the ureter.	三上修治	他	病理診断部
Am J Roentgenol.	197 5 1130-1136	2011	Preoperative T categorization and prediction of histopathologic grading of urothelial carcinoma in renal pelvis using diffusion-weighted MRI.	三上修治	他 病理診断部
Anticancer Research	31 9 3079-3083	2011	Phase I Study of Neoadjuvant Chemoradiotherapy Consisting of S-1 and Cisplatin for Patients with Resectable Advanced Gastric Cancer (KOGC-01)	高橋常浩	他 腫瘍センター

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師などが主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 武田 純三
管理担当者氏名	病院事務局長兼医療事務室長 本田 博哉 総務担当次長 朝倉 崇 総務担当次長 松田 美紀子 薬剤部次長 河村 俊一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療事務室	診療記録として保管している記録は、 ・紙媒体⇒一患者一番号制で外来、入院別に分けて集中管理を実施 ・電子媒体⇒情報システム内にて、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に沿った管理を実施
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医療事務室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援センター本部	
	高度の医療の研修の実績	卒後臨床研修センター	
	閲覧実績	医療事務室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療事務室、薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療事務室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全対策室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御センター
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御センター
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御センター
	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医用工学センター、中央放射線技術室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学センター、中央放射線技術室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学センター、中央放射線技術室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		医用工学センター、中央放射線技術室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務局長兼医療事務室長 本田 博哉
閲覧担当者氏名	医療事務室長代理 千葉 徹 医療事務室課長 山本 慎一
閲覧の求めに応じる場所	第一応接室 中央病歴室閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.4%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20362人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	22850人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	5753人	
	D: 初診の患者の数	46702人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
指針の主な内容：医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、指針を示すことにより適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資すること。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年11回（8月除く）
・ 活動の主な内容： ◇ 医療事故を未然に防止するための効果的な院内体制の確立 ◇ 院内において発生した医療事故及びニアミスについての情報の収集 ◇ 医療事故やニアミスに関する資料の収集ならびに分析 ◇ 医療事故防止のための具体的対策の検討及び推進 ◇ 医療事故防止のための研修及び教育	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	定例年4回：臨時年6回
・ 研修の主な内容： ◇ 安全管理体制、報告書の集計分析、医薬品の安全使用、医療機器安全使用 ◇ AED について ◇ インフォームドコンセント、 ◇ 電子カルテにおける同意書の取り扱い ◇ 中心静脈カテーテル、糖尿病治療薬、周産期成育領域、個人情報、呼吸管理	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ◇ 薬剤に関する医療安全検討委員会 >WG（持参薬、糖尿病治療薬、抗血小板薬の休薬） ◇ WG（呼吸管理、侵襲的処置（血管内・血管外）、身体抑制、救急カート）	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（1名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専従（２）名 専任（４）名 兼任（６）名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 医療安全管理部門の業務指針及び、医療安全管理者業務に関する申し合わせに準じて業務を遂行。</li> <li>◇ 教職員への安全管理に関する教育・指導（研修会の開催）ならびに検証</li> <li>◇ 安全対策の企画・立案、重大医療事故発生時の対応ならびに検証</li> <li>◇ 院内安全対策委員会・安全管理に係わる WG の事務局業務</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無



(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無								
<p>・ 指針の主な内容：</p> <table><tr><td>① 院内感染対策に関する基本的な考え方</td><td>⑤ 院内感染状況の報告</td></tr><tr><td>② 感染制御センターの設置</td><td>⑥ 院内感染発生時の対応</td></tr><tr><td>③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置</td><td>⑦ 患者への情報提供と説明</td></tr><tr><td>④ 職員研修</td><td>⑧ 病院における院内感染対策の推進</td></tr></table>		① 院内感染対策に関する基本的な考え方	⑤ 院内感染状況の報告	② 感染制御センターの設置	⑥ 院内感染発生時の対応	③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置	⑦ 患者への情報提供と説明	④ 職員研修	⑧ 病院における院内感染対策の推進
① 院内感染対策に関する基本的な考え方	⑤ 院内感染状況の報告								
② 感染制御センターの設置	⑥ 院内感染発生時の対応								
③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置	⑦ 患者への情報提供と説明								
④ 職員研修	⑧ 病院における院内感染対策の推進								
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年18回								
<p>・ 活動の主な内容：感染対策運営委員会（月1回、年12回開催） 感染専門委員会（隔月、年6回および臨時開催）</p>									
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回								
<p>・ 研修の主な内容：院内感染対策講習会：全教職員対象（5月、7月、10月（2回）、11月、2月） 注）参加できなかった教職員のために別途、録画CDを上映（CD視聴会）し、機会を設けている。年3回（7月、12月、2月） 院内における感染症・耐性菌など発生状況、感染対策の基本・防護具の使用職業感染防止抗菌薬の適正使用、手術部位感染対策、適切な検体採取など</p>									
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況									
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有）無） ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <table><tr><td>① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、血液暴露</td></tr><tr><td>② ラウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週2回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・職員意識調査（年数回）</td></tr><tr><td>③ 院内周知確認及び自己チェック</td></tr></table>		① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、血液暴露	② ラウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週2回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・職員意識調査（年数回）	③ 院内周知確認及び自己チェック					
① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、血液暴露									
② ラウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週2回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・職員意識調査（年数回）									
③ 院内周知確認及び自己チェック									

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
・ 研修の主な内容：資料 1	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (○・無) ・ 業務の主な内容： 手順書に基づく業務の実施状況の直近の確認日：平成24年5月7日 主に外来診察室及び病棟、薬剤部における医師、看護師、薬剤師などに対して手順書の管理状況と手順書に基づく業務の実施の確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 資料 2、資料 3 参照	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	① 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14回
研修の主な内容： 全従業者を対象として助細動器 特定の従業者を対象として：人工心肺装置及び補助循環装置 人工呼吸器 血液浄化装置 閉鎖式保育器 診療用高エネルギー放射線発生装置 診療用放射線照射装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ( ① 無 ) ・ 保守点検の主な内容： 臨床工学士による定期点検：除細動器 メーカーによる定期点検：人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置 閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ① 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 医療機器に関するインシデント報告の内容分析（原因と対策） (2) 分析結果の周知 (3) 医薬品医療機器総合機構（Pmda）及び日本医療機能評価機構からの安全性情報の周知 (4) 医療機器メーカーからの安全性情報の周知	